

保健予防事業の概要

令和4年度事業計画
令和3年度事業実績

長野県佐久市

目 次

| | | |
|-----|--------------------------------|----|
| I | 佐久市の概況 | 1 |
| II | 令和4年度佐久市保健予防事業計画 | 2 |
| III | 令和4年度佐久市子育て支援施策メニュー | 6 |
| IV | 令和4年度高齢者支援メニュー | 11 |
| V | 令和3年度事業の概要 | |
| | 1 母子保健事業 | |
| | (1) 年次別出生率の推移 | 14 |
| | (2) 妊娠届出状況 | 14 |
| | (3) 産前学級「パパママ教室」 | 14 |
| | (4) 乳児健診の状況 | 15 |
| | (5) 妊婦・乳児一般・産婦健康診査の受診状況（受診票） | 18 |
| | (6) 母と子のすこやか相談室 | 18 |
| | (7) 子育てママさんサポート事業 | 19 |
| | (8) 産後ケア事業 | 19 |
| | (9) 乳幼児家庭訪問・こんにちは赤ちゃん事業 | 20 |
| | (10) 離乳食教室「はい あーんして」 | 20 |
| | (11) 離乳食教室「もぐもぐできるかな」 | 21 |
| | (12) いきいき相談 | 21 |
| | (13) 発達支援教室「元気っ子クラブ」 | 21 |
| | (14) 思春期・赤ちゃんふれあい体験学習 | 22 |
| | (15) コウノトリ支援事業 | 22 |
| | 2 口腔歯科保健センター事業 | |
| | (1) 幼児歯科健診（1歳6か月児歯科健診・3歳児歯科健診） | 23 |
| | (2) 2歳児歯っぴー教室 | 23 |
| | (3) 妊婦歯科健診 | 23 |
| | (4) お口の相談日 | 23 |
| | (5) 随時相談 | 23 |
| | (6) 電話相談 | 23 |
| | (7) 保育園・幼稚園口腔衛生指導 | 24 |
| | (8) 保育園・幼稚園歯科検診結果集計（春の歯科検診結果） | 24 |
| | (9) 子育てサロン等う歯予防事業 | 24 |
| | (10) 小中学校口腔衛生指導 | 24 |
| | (11) フッ素洗口法によるう歯予防事業 | 24 |
| | (12) 歯周病（義歯）検診 | 25 |
| | (13) 在宅要介護者等歯科保健推進事業 | 26 |
| | (14) 口腔機能向上の普及啓発事業 | 27 |
| | (15) 専門職員研修会 | 27 |

| | |
|-----------------------|----|
| 3 成人保健事業 | |
| (1) 各種健康診査年度別受診状況 | 28 |
| (2) 個別健診のまとめ | 29 |
| (3) 地域集団健診のまとめ | 30 |
| (4) 特定健診・特定保健指導実施状況 | 32 |
| (5) 糖尿病性腎症重症化予防事業実施状況 | 32 |
| (6) がん検診のまとめ | 33 |
| (7) B型C型肝炎ウイルス検査のまとめ | 38 |
| (8) 重症化予防講演会 | 38 |
| | |
| 4 健康づくり事業 | |
| (1) 栄養改善教室 | 39 |
| (2) ぴんころ運動推進事業 | 40 |
| (3) 地区ウォーキングステーション | 42 |
| (4) 森林セラピー事業 | 42 |
| | |
| 5 地区組織事業 | |
| (1) 保健補導員会 | 43 |
| (2) 佐久市食生活改善推進協議会 | 43 |
| | |
| 6 精神保健事業 | |
| (1) 健康相談等 | 44 |
| (2) デイケア、音楽療法 | 44 |
| (3) 自殺対策事業 | 45 |
| | |
| 7 予防接種事業 | |
| (1) 定期予防接種状況 | 47 |
| (2) 任意予防接種状況 | 47 |
| (3) 抗体検査実施状況 | 47 |
| | |
| 8 医師当番制対策事業 | 48 |

I 佐久市の概況

1 位置と自然

佐久市は、本州のほぼ中央にあり、長野県における首都圏への東玄関口に位置し、4つの平らのひとつ、佐久平の中央に位置する。北に浅間山、南に八ヶ岳をはじめ、蓼科山、双子山を望み、東は妙義荒船佐久国定公園をもって群馬県に接し、西に北アルプスを望むことができる。また、千曲川が市の中央部を南北に貫流し、肥沃な耕地を形成している。

佐久市の面積は、423.51km²、市役所の標高は692mであり、寒暖の差が大きく降水量が少ないなど、典型的な内陸性気候を示す高燥冷涼地である。特に年間を通して晴天率が高く、国内でも有数の日照時間が多い地域である。

また、首都圏へのアクセスに優れており、平成27年3月に金沢まで延伸された北陸新幹線や、上信越自動車道が市内を東西に走っている。

中部横断自動車道は、平成30年4月に八千穂高原まで開通。交通の結節点、交流圏の拠点として、飛躍的な発展が期待されている。



2 人口等 (令和4年4月1日現在/外国人含む)

- ・総人口 98,317人
男性 48,334人 女性 49,983人
- ・世帯数 42,853世帯
- ・年間出生数 739人 (令和2年)
- ・合計特殊出生率 1.66人 (令和2年)
- ・高齢化率 31.7% (令和4年4月1日現在)
- ・高齢者の就業率 28.7% (令和2年)

3 平均寿命 (平成27年厚生労働省生命表より)

佐久市 男 81.7歳 女 88.4歳

4 医療機関 (令和3年10月1日現在)

- ・病院 7ヶ所
医療法人 雨宮病院
医療法人 三世会 金澤病院
日本赤十字社 川西赤十字病院
社会医療法人 恵仁会 くろさわ病院
佐久市立国保浅間総合病院
JA長野厚生連佐久総合病院
JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター
- ・一般診療所 88ヶ所
- ・歯科診療所 55ヶ所

II 令和4年度 佐久市保健予防事業計画

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当係等 | 新規 変更 拡大 |
|------------------|-----------------------------|---|---------------------------------|---------------------|----------------|
| ●母子保健事業 | | | | | |
| 1 | コウノトリ支援事業 | 不妊治療及び不育症治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要する保険診療外の費用の一部を助成する | 不妊治療及び不育症治療をしている夫婦 | 健康増進係 | |
| 2 | 母子健康手帳交付 妊婦保健指導 | 妊娠届出時における母子手帳の交付、妊婦相談・保健指導、子育てアンケートの実施 | 妊婦とその家族 | | |
| 3 | 妊婦一般健康診査 (受診票) | 県内医療機関にて妊婦一般健康診査を受診するための受診票23枚を交付 | 妊婦 | | |
| 4 | 妊婦一般健康診査 県外受診費用補助 | 里帰り等で県外で妊婦一般健康診査を受診した者に所定の受診費用を補助 | 該当する妊婦 | | |
| 5 | 産前学級“パバママ教室” | 助産師による講話や保健指導、栄養士による栄養講話等を保健センターにて実施(年30回) | 妊婦とその家族 | | |
| 6 | 出生時保健指導 | 出生届出時における育児相談・保健指導、赤ちゃん手帳交付、乳児一般健康診査受診票交付、お父さんアンケートの実施 | 産婦とその家族 | | |
| 7 | こんには赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業) | 乳児の健やかな発育発達のため、保健師・助産師が訪問指導を実施 | 生後4か月までの乳児とその家族 | | |
| 8 | 子育てママさんサポート事業 (養育支援訪問事業) | 育児支援が必要な家族に対し、保健師・助産師が継続して支援を行う | 育児支援を必要とする妊婦と児のいる家族 | | |
| 9 | 乳児健康診査 | 4・10か月児健診 各保健センターにて実施(4か月児健診:年54回/10か月児健診:年54回) 7か月児健診 医療機関にて個別健診 | 4・7・10か月児 | | |
| 10 | 幼児健康診査 | 1歳6か月児健診 各保健センターにて実施(年39回) 3歳児健診 各保健センターにて実施(年40回) | 1歳7～9か月児 3歳1～3か月児 | | |
| 11 | 歯科健診 | 1歳6か月・3歳児健診に併せて実施 | 1歳7～9か月児 3歳1～3か月児 | | |
| 12 | のびのび広場 | 乳幼児健診後のフォロー、育児相談、指導を個別に実施 | 乳幼児とその家族 | | |
| 13 | 離乳食教室 “はい あーんして” | 栄養講話、すりつぶし体験、試食等 各保健センターにて実施(年30回) | 生後3～4か月児とその家族 | | |
| 14 | 離乳食教室 “もぐもぐできるかな” | 栄養相談及び離乳食の試食 各保健センターにて実施(年30回) | 生後8～9か月児とその家族 | | |
| 15 | いきいき相談 (心理・言語) | 公認心理師による心理相談、言語聴覚士による言語相談 佐久市保健センターにて実施(心理12回、言語14回) 予約制 | 希望者及び相談が必要な児とその家族 | | |
| 16 | 発達支援教室 “元気っ子クラブ” | 幼児健診等において発達や育児のフォローを必要とした親子のための発達支援、育児支援教室 浅科保健センター等にて実施(年22回) | 支援が必要な児とその家族 | | |
| 17 | 母と子のすこやか相談室 | 発育、発達、育児等母子保健全般にわたる相談指導 | 市民 | | |
| 18 | 思春期・赤ちゃんふれあい体験学習 | ライフデザイン講話を行い、乳児への理解と命の大切さを感じ、思いやりの心を育む | 市内の中学3年生 | | |
| 19 | 産婦健康診査(受診票) | 県内医療機関にて産婦健康診査を受診するための受診票2枚を交付 | 産婦 | | |
| 20 | 産婦健康診査 県外受診費用補助 | 里帰り等で県外で産婦健康診査を受診した者に所定の受診費用を補助 | 該当する産婦 | | |
| 21 | 産後ケア | 母親の心身の状況に応じ、乳房ケアや授乳指導、母親の身体のケア等に助産師が対応する「専門相談支援」を実施 | 専門的な支援が必要と認められた家庭 | | |
| ●口腔歯科保健事業 | | | | | |
| 22 | お口の相談日 | 歯科衛生士が歯科相談(歯のみがき方など)に対応 | 市民 | 口腔 歯科 保健 係 | |
| 23 | 妊婦歯科健診 | 市内実施医療機関での歯科健診・歯みがき指導 | 妊婦 | | |
| 24 | 2歳児歯つびー教室 | 歯科健診・歯科相談・上の前歯のフッ素塗布(希望者のみ) | 2歳2～3か月児とその保護者 | | |
| 25 | 乳幼児歯科保健指導 | 4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児健診で歯科保健個別指導を実施 | 4か月児・10か月児 ・1歳6か月児・3歳児とその保護者 | | |
| 26 | 幼児歯科健康診査 | 母子保健法に基づき、1歳6か月児・3歳児の歯科健康診査を実施 | 1歳6か月児・3歳児 | | |
| 27 | 保育園・幼稚園口腔衛生指導 | 歯科衛生士によるう歯予防の話、ブラッシング指導等を実施 年長児を対象に歯の染め出しを実施 | 園児 | | |
| 28 | 子育てサロンう歯予防講座 | 子育てサロンにおいて、歯科衛生士によるう歯予防の話・指導を実施 | 子育てサロン参加者 | | |
| 29 | 小中学校口腔衛生指導 | 小中学校の児童・生徒を対象に歯科衛生士によるう歯・歯肉炎予防の話、ブラッシング指導等を実施 | 小中学校児童・生徒 | | |

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当係等 | 新規 変更 拡大 |
|-------------------|-----------------|---|---|-----------------|----------------|
| 30 | フッ素洗口法によるう歯予防 | 年長児を対象に、0.05%のフッ化ナトリウム水溶液を用いて週5回、市立小中学校児童・生徒を対象に、0.2%のフッ化ナトリウム水溶液を用いて週1回洗口を実施 | 保育園・幼稚園の年長児、市立小中学校児童・生徒 | 口腔 歯科 保健係 | |
| 31 | 歯周病（義歯）検診 | 地域集団健診会場において、歯周病検診を実施 | 35歳以上の市民 | | |
| 32 | 在宅要介護者等訪問歯科健診 | 在宅要介護者宅を歯科医師・歯科衛生士が訪問し、歯科健康診査及び歯科保健指導等を実施 | 在宅要介護者等 | | |
| 33 | 在宅要介護者等訪問歯科指導 | 在宅要介護者宅を歯科衛生士が訪問し、歯科保健指導等を実施 | 在宅要介護者等 | | |
| 34 | 在宅要介護者等歯科往診治療 | 通院困難な在宅要介護者に対し歯科医師が歯科往診治療を行うにあたり、歯科衛生士が事前訪問し、円滑な往診への支援を行う | 在宅要介護者等 | | |
| 35 | 口腔機能向上普及啓発 | 各地区・関係機関等からの口腔機能向上指導の依頼により、歯科衛生士が口腔講話を実施 | 市民 | | |
| 36 | 障がい児（者）訪問歯科指導 | 在宅療養の障がい児（者）宅を歯科衛生士が訪問し、歯科保健指導等を実施 | 在宅療養障がい児（者） | | |
| 37 | 障がい児（者）施設等歯科指導 | 指導を希望する施設等の利用者を対象に歯科衛生士による、う歯・歯周病予防の話、ブラッシング指導等を実施 | 障がい児（者）施設等利用者 | | |
| 38 | 歯科保健に関する専門職員研修会 | 歯科保健の知識の普及と効果的な歯科保健事業の円滑な実施を目指し、歯科保健に関する専門職員の研修会を実施 | 歯科保健に係る専門職員 | | |
| 39 | 休日救急歯科診療所運営事業 | 日曜、祝祭日、お盆、年末年始に、佐久歯科医師会の協力により、サングリモ中込口腔歯科保健センター内に設置した診療施設で、市民の救急歯科診療に対応 | 市民 | | |
| ●健康増進事業 | | | | | |
| 40 | 地域集団健診 | 保健センター等にて年33回実施 基本検査と選択検査（肺がん検診（一部会場）・大腸がん検診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検査・歯周病検診）を実施 | 35歳から39歳までと75歳以上の市民及び40歳から74歳までの国民健康保険加入者 | 健診 推進係 | |
| 41 | 個別健診 | 市内35医療機関にて通年実施 基本検査と選択検査（各種がん検診・肝炎ウイルス検査）を実施 | 35歳以上の市民 | | |
| 42 | 胃検診 | 市内20医療機関にて実施 胃内視鏡検査または胃X線検査のいずれかを選択 | 胃内視鏡:50歳以上の市民 胃X線:40歳以上の市民 | | |
| 43 | 子宮頸がん検診 | 市内7医療機関にて実施 保健センター等にて検診車により年9回実施 | 20歳以上の女性 (2年に1回、偶数年齢) | | |
| 44 | 胸部X線検査 | 市内30医療機関にて実施 (肺らせんCT検査との両方受診することは不可) | 40歳以上の市民 | | |
| 45 | 肺がん（らせんCT）検診 | 市内8医療機関にて肺らせんCT検査を実施 | 40歳から75歳まで 5歳刻みの年齢を迎える市民 | | |
| 46 | 乳がん検診（マンモグラフィ） | 市内3医療機関にて実施 保健センター等にて検診車により乳房X線検査を14回実施 | 40歳以上の女性 (2年に1回、偶数年齢) | | |
| 47 | 大腸がん検診 | 市内36医療機関にて実施 | 40歳以上の市民 | | |
| 48 | 前立腺がん検診 | 市内36医療機関にて実施 | 50歳以上の男性 | | |
| 49 | B型C型肝炎ウイルス検査 | 市内36医療機関にて実施 | 40～75歳で過去にこの検査を受けていない市民 | | |
| 50 | 結核・肺がん検診 | 結核健診及び肺がん検診を検診車にて地区を巡回して実施 | 結核健診:65歳以上の市民 肺がん検診:40歳以上の市民 | 保健 予防係 | |
| 51 | 地域集団健診結果報告会 | 各地区公会場等にて健診後概ね1か月を目途に実施 保健師・栄養士による保健指導 | 地域集団健診受診者 (74歳以下及び75歳以上の希望者) | 健康 増進係 | |
| 52 | 健康相談および健康教育 | 要望に応じて血圧測定、相談、講話、体操等を行う | 市民 | | |
| ●健康づくり推進事業 | | | | | |
| 53 | 栄養改善教室 | 地区公会場・保健センターにて実施 | 市民 | 健康 増進係 | |
| 54 | ぴんころ運動推進事業 | ピンピン講座、ぴんころステーションの実施、ぴんころ食の普及 | 市民 | | |
| 55 | 地区ウォーキングステーション | 自然環境を活かし楽しみながら実践できる身体活動としてウォーキングを推奨し、運動のきっかけづくり、実践、相談の場として実施 | 市民及び市外の希望者、佐久市保健補導員 | | |
| 56 | 森林セラピー事業 | 森林資源を活かした森林セラピー活動の推進 森林セラピー体験ツアーの実施 | 市民 | 保健医療 政策係 | |
| ●家庭訪問事業 | | | | | |
| 57 | 家庭訪問 | 各種健診後の追跡、保健補導員・民生児童委員からの要請によるもの、その他必要と認められる場合、保健師、栄養士等が各家庭を訪問し、保健指導、相談を行う | 市民 | 健康 増進係 | |

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当係等 | 新規 変更 拡大 |
|---------|---------------------|---|--|-------|----------------|
| ●地区組織事業 | | | | | |
| 58 | 保健補導員会 | 区より選出された696名 役員構成／理事23名（内会長1名・副会長3名）、監事2名 主要事業／佐久市保健補導員大会、理事会、研修会（年4回）、健康アンケート調査、各種健診の受診勧奨、担当保健師との地区保健問題についての連携、市母子保健事業への協力、地区自主活動等 | 市民 | 健康増進係 | |
| 59 | 食生活改善推進協議会 | 食生活改善事業、びんころ食の普及 | 市民 | | |
| ●精神保健事業 | | | | | |
| 60 | 精神障害者家族会 | 佐久市精神障害者家族会の庶務 | 家族会会員 | 健康増進係 | |
| 61 | 精神障害者社会復帰訓練事業（デイケア） | 社会復帰に向けての生活訓練・作業訓練の場 月1～2回実施 | 市民 | | |
| 62 | こころのケア事業 | 精神障害者を対象にした音楽療法を毎月実施 | 市民 | | |
| 63 | 健康相談事業 | 市内作業所等での血圧測定、健康相談、健康・栄養講話など | 作業所等への通所者 | | |
| 64 | 精神保健福祉連絡会 | 医療機関や佐久管内他地域との連携を図る連絡会議 | 保健福祉関係者 | | |
| 65 | 医療保護入院に伴う保護者同意 | 医療機関からの依頼に伴う事務手続き | 市民 | | |
| 66 | 自殺対策 | 心の健康づくり講座 | 市民 | | |
| 67 | | 自殺予防ゲートキーパー養成研修会（初級編、中級編、フォローアップ編） | 市民、支援者等 | | |
| 68 | | 心のほっとライン・佐久（相談専用直通電話） | 市民 | | |
| 69 | | 心といのちの総合相談会 | 市民 | | |
| 70 | | 中学生向け自殺予防啓発事業 | 中学生及び保護者 | | |
| 71 | | 自殺対策連絡協議会 | 関係団体等 | | |
| 72 | | 自殺対策推進本部会議・幹事会 | 市職員 | | |
| 73 | | 庁内自殺対策関係課連絡会議 | 市職員 | | |
| 74 | 啓発活動 | 市民 | | | |
| ●予防接種事業 | | | | | |
| 75 | 定期予防接種 | ヒブ：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 生後2か月以上5歳未満 | 保健予防係 | |
| 76 | | 小児用肺炎球菌：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 生後2か月以上5歳未満 | | |
| 77 | | B型肝炎：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 1歳未満 | | |
| 78 | | ロタウイルス：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 1価出生6週0日から24週0日 5価出生6週0日から32週0日 | | |
| 79 | | 四種混合：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 生後3か月以上7歳6か月未満 | | |
| 80 | | ポリオ：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 生後3か月以上7歳6か月未満 | | |
| 81 | | 二種混合：集団接種 市内17小学校 | 11歳以上13歳未満 | | |
| 82 | | B C G：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 1歳未満 | | |
| 83 | | M R 第1期：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 1歳以上2歳未満 | | |
| 84 | | M R 第2期：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 5歳以上7歳未満で就学前の1年間 | | |
| 85 | | 水痘：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 1歳以上3歳未満 | | |
| 86 | | 日本脳炎1期：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 生後6か月以上7歳6か月未満（特例対象者含む） | | |
| 87 | | 日本脳炎2期：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 9歳以上13歳未満（特例対象者含む） | | |
| 88 | | 子宮頸がん予防：個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 平成9年4月2日～平成23年4月1日生まれまでの女子（キャッチアップ対象者含む） | | 拡大 |
| 89 | | 風しんの追加的対策 風しん第5期：抗体検査 個別接種（個別接種実施医療機関にて2025年3月まで実施予定） | 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性が、市発行のクーポン券を利用し風しんに係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しん抗体が無い者 | | 拡大 |

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当係等 | 新規 変更 拡大 |
|-------------------|-------------------------|---|------------------------------------|---------------------|----------------|
| 90 | 定期予防接種 | インフルエンザ（B類疾病）：個別接種 | 65歳以上の高齢者他 | 保健 予防 係 | |
| 91 | | 高齢者用肺炎球菌（B類疾病）：個別接種 （個別接種実施医療機関にて通年実施） | 65歳～100歳まで5歳刻みの年齢を迎える方で、過去に接種歴のない方 | | |
| 92 | 任意予防接種 | 高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部助成 個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 66歳以上の定期接種対象外で、過去に接種歴のない方 | | |
| 93 | | 生まれてくる赤ちゃんのための風しん予防接種費用の一部助成 個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 長野県風しん抗体検査結果で予防接種が必要とされた方 | | |
| 94 | | おたふくかぜ予防接種費用の一部助成 個別接種（個別接種実施医療機関にて通年実施） | 1歳以上2歳未満 | | |
| 95 | 造血細胞移植後のワクチン再接種費用助成業 | 造血細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植）により移植前に接種した定期予防接種ワクチンの免疫が消失した可能性が高く、ワクチン再接種が必要と医師がみとめた20歳未満の方に再接種費用を助成する | 20歳未満の方 | | |
| ●その他の事業 | | | | | |
| 96 | 複十字シール募金 | 結核予防婦人会（保健補導員会）の協力にて実施 実施期間：8月～12月 | 市民 | 保健 予防 係 | |
| 97 | 信州婦人健康のつどい | 結核予防婦人会長野県連合会の主催で年1回開催される信州婦人健康のつどいに参加 | 結核予防婦人会 （保健補導員会） | | |
| 98 | 献血推進 | 全血献血（400ml献血など）・成分献血の啓発 | 市民 | | |
| 99 | 感染症予防 | 感染症予防の啓発 | 市民 | | |
| 100 | エイズ予防事業 | エイズ予防の普及・啓発 | 市民 | | |
| 101 | 臓器移植のための普及・啓発及びドナーカード推進 | 臓器移植・ドナーカードの普及・啓発 | 市民 | | |
| 102 | 骨髄等ドナー支援事業 | 骨髄又は末梢血幹細胞の適切な提供及びドナー登録の推進を図るため、ドナー及び勤務事務所にに対し助成金を交付 | ドナー及び勤務事務所 | | |
| 103 | 健康ネットワーク21講演会 | 佐久市立国保浅間総合病院主催により、各診療科の医師等を講師に各種演会を実施 | 市民 | 浅間総合病院 | |
| ●国保事業 | | | | | |
| 104 | 特定健診・特定保健指導 | 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の対象者・予備群を選定し保健指導を行うことで生活習慣病の予防を図る。 | 40歳～74歳の国保加入者 | 健康 増進 係 | |
| 105 | 糖尿病性腎症等重症化予防 | 糖尿病等が重症化するリスクの高い対象者を抽出し、保健指導等を行うことで、重症化を予防する | 40歳～74歳の国保加入者 | | |
| ●医師当番制対策事業 | | | | | |
| 106 | 在宅当番医制事業 | 市内医療機関が日曜、祝日及び年末年始（12/31～1/3）に当番で初期救急診療を実施 | 一次診療対象者 | 保健 医療 政策 係 | |
| 107 | 佐久地域休日小児科急病診療センター事業 | 日曜、祝日及び年末年始（12/31～1/3）の午前中、市立浅間総合病院にて、佐久医師会等の協力により小児科の急病患者的診療を実施 | 一次診療対象の小児 | | |

Ⅲ 令和4年度 佐久市子育て支援施策メニュー

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 |
|---------------------|-----------------------------|---|-----------------------------|------------------|----------------|
| ●健康診査事業 | | | | | |
| 1 | 妊婦一般健康診査 (受診票) | 県内医療機関にて妊婦一般健康診査を受診するための受診票23枚を交付 | 妊婦 | 健康 つくり 推進課 | |
| 2 | 妊婦一般健康診査 県外受診費用補助 | 里帰り等で県外で妊婦一般健康診査を受診した者に所定の受診費用を補助 | 該当する妊婦 | | |
| 3 | 産婦健康診査(受診票) | 県内医療機関にて産婦健康診査を受診するための受診票2枚を交付 | 産婦 | | |
| 4 | 産婦健康診査県外受診費用補助 | 里帰り等で県外で産婦健康診査を受診した者に所定の受診費用を補助 | 該当する産婦 | | |
| 5 | 乳児健康診査 | 母子保健法に基づき、乳児の健康診査を実施する(4、10か月児健康診査) 7か月児健康診査は、県内医療機関にて個別健診を実施する | 乳児 | | |
| 6 | 幼児健康診査 | 母子保健法に基づき、幼児の健康診査及び歯科健康診査を実施する(1歳6か月児、3歳児) | 幼児 | | |
| ●母子保健相談・指導事業 | | | | | |
| 7 | 妊婦保健指導 | 妊娠届出時における妊婦相談・保健指導、子育てアンケートの実施 | 妊婦とその家族 | 健康 つくり 推進課 | |
| 8 | 出生時保健指導 | 出生届出時における育児相談・保健指導、赤ちゃん手帳交付、乳児一般健康診査受診票交付、お父さんアンケートの実施 | 産婦とその家族 | | |
| 9 | 母と子のすこやか相談室 | 発育、発達、育児等母子保健全般にわたる相談指導 | 市民 | | |
| 10 | いきいき相談 (心理・言語) | 公認心理師による心理相談、言語聴覚士による言語相談 佐久市保健センターにて実施(心理12回、言語14回)予約制 | 希望者及び相談が必要な児とその家族 | | |
| ●母子訪問指導事業 | | | | | |
| 11 | こんにちは赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業) | 乳児の健やかな発育発達のため、保健師・助産師の訪問指導を実施する | 生後4か月までの全乳児とその家族 | 健康 つくり 推進課 | |
| 12 | 産婦訪問指導事業 | 産後4か月以内の産婦に対し、健康の確認と育児保健指導をこんにちは赤ちゃん事業に併せて実施 | 産後4か月までの産婦 | | |
| 13 | 子育てママさんサポート 事業(養育支援訪問事業) | 育児支援が必要な家族に対し、保健師・助産師が継続して支援を行う | 育児支援を必要とする妊婦と児のいる家族 | | |
| 14 | 乳幼児訪問指導事業 | 医療機関からの連絡、健診・相談後のフォローにて訪問指導が必要な乳幼児・保護者に対して実施 | 乳幼児と保護者 | | |
| 15 | 産後ケア | 母親の心身の状況に応じ、乳房ケアや授乳指導、母親の身体ケア等に助産師が対応する「専門相談支援」を実施 | 専門的な支援が必要と認められた家庭 | | |
| ●母子育児支援事業 | | | | | |
| 16 | 産前学級“ババママ教室” | 助産師による講話や保健指導、栄養士による栄養講話等を保健センターにて実施(年30回) | 妊婦とその家族 | 健康 つくり 推進課 | |
| 17 | 離乳食教室(前期・中期) | 離乳食の作り方について講義、試食、個別相談等を実施することで、食事の第一歩である離乳食の基本を学ぶ場とする | 乳児と保護者 | | |
| 18 | のびのび広場 | 乳幼児健診後のフォロー、育児相談、指導を個別に実施 | 乳幼児とその家族 | | |
| 19 | 発達支援教室 “元気っ子クラブ” | 幼児健診等において発達や育児のフォローを必要とした親子のための発達支援、育児支援教室 浅科保健センター等にて実施(年22回) | 支援が必要な児とその家族 | | |
| 20 | 障がい児をもつ親の会への支援 | 障がい児をもつ親の会への相談支援 | 障がい児の保護者 | 福祉課 | |
| ●小児医療事業 | | | | | |
| 21 | 佐久地域休日小児科急病 診療センター事業 | 日曜、祝日及び年末年始(12/31～1/3)の午前中、市立浅間総合病院にて、佐久医師会等の協力による小児科の急病患者的診療を実施 | 乳幼児から中学生 | 健康 つくり 推進課 | |
| ●口腔歯科保健事業 | | | | | |
| 22 | お口の相談日 | 歯科衛生士が歯科相談(歯のみがき方など)に対応 | 市民 | 健康 つくり 推進課 | |
| 23 | 妊婦歯科健診 | 市内実施医療機関での歯科健診、歯みがき指導 | 妊婦 | | |
| 24 | 2歳児歯っぴー教室 | 歯科健診・歯科相談・上の前歯のフッ素塗布(希望者のみ) | 2歳2～3か月児とその保護者 | | |
| 25 | 乳幼児歯科保健指導 | 4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児健診で歯科保健個別指導を実施 | 4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児とその保護者 | | |
| 26 | 幼児歯科健康診査 | 母子保健法に基づき、1歳6か月児・3歳児の歯科健康診査を実施 | 1歳6か月児・3歳児 | | |
| 27 | 保育園・幼稚園口腔衛生 指導 | 歯科衛生士によるう歯予防の話、ブラッシング指導等を実施 また、年長児を対象に歯の染め出しを実施 | 園児 | | |
| 28 | 子育てサロンう歯予防講座 | 子育てサロンにおいて、歯科衛生士によるう歯予防の話・指導を実施 | 子育てサロン参加者 | | |
| 29 | う歯放置対策事業 | 保育所、幼稚園等で重症のう歯により、日常生活に支障がある幼児の保護者に対して治療を促す | 就学前児童・保護者 | | |
| 30 | 小・中学校口腔衛生指導 | 小中学校の児童・生徒を対象に歯科衛生士がう歯・歯肉炎予防の話、ブラッシング指導等を実施 | 小中学校児童・生徒 | | |
| 31 | フッ素洗口法によるう歯 予防事業 | 年長児を対象に0.05%フッ化ナトリウム水溶液を用いて週5回、市立小中学校児童・生徒を対象に、0.2%のフッ化ナトリウム水溶液を用いて週1回洗口を実施 | 保育園・幼稚園の年長児 市立小中学校児童・生徒 | | |
| 32 | 障がい児訪問歯科指導 | 在宅療養の障がい児宅を歯科衛生士が訪問し、歯科保健指導等を実施 | 在宅療養障がい児 | | |

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 |
|----------------------|-----------------------|---|---------------------------|----------|----------------|
| 33 | 障がい児(者)施設等歯科指導 | 指導を希望する施設等の利用者を対象に歯科衛生士による、う歯・歯周病予防の話、ブラッシング指導等を実施 | 障がい児(者)施設等利用者 | 健康づくり推進課 | |
| 34 | 佐久市休日救急歯科診療所事業 | 日曜、祝祭日、お盆、年末年始に、佐久医師会の協力により、サングリモ中込口腔歯科保健センター内に設置した診療施設で、小児をはじめとする市民の救急歯科診療に対応 | 市民 | 健康づくり推進課 | |
| ●母子保健関係交付事業 | | | | | |
| 35 | 母子健康手帳交付 | 母子保健法に基づき妊娠中の健康管理と健康増進を図る | 妊婦 | 健康づくり推進課 | |
| 36 | 赤ちゃん手帳交付 | 乳幼児の健康の保持増進と育児不安の解消、市事業の周知等を図るため出生届時に交付する | 産婦とその家族 | 健康づくり推進課 | |
| ●思春期保健事業 | | | | | |
| 37 | 思春期・赤ちゃんふれあい体験学習 | ライフデザイン講話を行い、乳児への理解と命の大切さを感じ、思いやりの心を育む | 市内の中学3年生 | 健康づくり推進課 | |
| 38 | 思春期相談 | 思春期に関する相談に対応する | 本人・保護者等家族 | 健康づくり推進課 | |
| ●不妊治療助成事業 | | | | | |
| 39 | コウノトリ支援事業 | 不妊治療及び不育症治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要する保険診療外の費用の一部を助成する | 不妊治療及び不育症治療をしている夫婦 | 健康づくり推進課 | |
| ●予防接種事業 | | | | | |
| 40 | 予防接種法による定期予防接種の実施 | ヒブ(インフルエンザ菌b型)、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス、四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)、ポリオ、二種混合(ジフテリア・破傷風)、BCG、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん予防の予防接種を実施する | 乳幼児・児童生徒 | 健康づくり推進課 | |
| 41 | 任意接種費用の助成 | 生まれてくる赤ちゃんのための風しん予防接種費用の一部を助成する | 長野県風しん抗体検査結果で予防接種が必要とされた方 | 健康づくり推進課 | |
| 42 | | おたふくかぜ予防接種費用の一部を助成する | 1歳以上2歳未満 | 健康づくり推進課 | |
| 43 | 広報・FM等による啓発 | 健診時等に予防接種等のお知らせ、新規事業啓発記事等の記載 広報・FMさくいだいら・健康カレンダー等による啓発 | 市民 | 健康づくり推進課 | |
| ●食育 | | | | | |
| 44 | 食育の推進 | 食育基本計画の基本目標を基に、妊娠期、乳幼児期、学童期、思春期等、各ライフステージに応じた取り組みを展開し、食育を推進する。 | 妊娠期、乳幼児期、学童期・思春期等にある児童・生徒 | 健康づくり推進課 | |
| 45 | 食育講座キッズキッチン | 子どもたちが、五感を通して料理を体験し、たくましく生きる力を育てる体験プログラム | 児童 | 子育て支援課 | |
| 46 | 子ども公民館 | 親子でおやつ作りなどに挑戦しながら食に関する知識や技術を学び、食を大切にすることを育てる | 小学生とその保護者 | 中央公民館 | |
| ●公民館子育て支援事業 | | | | | |
| 47 | 乳幼児学級事業 | 市民会館等において乳幼児と母親同士がつどい交流し、地域におけるつながりを育む中で、我が子にあった「私の子育て」について考えていく学習の場 | 乳幼児親子等 | 中央公民館 | |
| 48 | 親子ふれあい劇場の開催 | 地域で活動している劇団や音楽講師の講演・演奏会を親子で鑑賞し、理解を深めるとともに親子の親睦を図る | 幼児・小学生と保護者等 | 中央公民館 | |
| 49 | 小学生の公民館体験学習 | 公民館学習グループの指導により公民館体験学習を行い、公民館活動への理解と交流を深める | 小学3・4年生 | 中央公民館 | |
| 50 | 親子ふれあい学級 | 各地区館での制作活動や体験学習等を通して、親及び祖父母とのふれあいや、他の家族等と交流し合うことで協調性を学び子どもの健全育成を図る | 児童・保護者等 | 中央公民館 | |
| ●青少年健全育成等推進事業 | | | | | |
| 51 | ジュニアリーダー研修事業 | 市内の小学校5、6年生を対象に、「自分で考え行動する力」を持った人間性豊かな子どもの育成と地域のリーダーとしての力を身につけるために様々な体験活動を実施する | 小学校5・6年生 | 生涯学習課 | |
| 52 | 銀河連邦子ども留学交流事業 | 銀河連邦7共和国の代表児童が一堂に会し、体験活動を通して友好を深め、各共和国の相互理解と、宇宙への夢とロマンを育む | 小学校5年生 | 生涯学習課 | |
| 53 | 佐久市子どもまつり | 「親子で体験!モノづくり」をテーマに、親子でいろいろなおもちゃを作成し、手作りの楽しさにふれながら、幅広い年齢層の指導者との交流を図る | 幼稚園児・保育園児・小学生 | 生涯学習課 | |
| 54 | ふるさと創生人材育成事業(中学生海外研修) | 市内の中学生を対象として、姉妹都市エストニア共和国及び友好都市モンゴル国の一般家庭でホームステイし、国際感覚を身につける | 中学生 | 生涯学習課 | |
| 55 | ふるさと創生人材育成事業(子ども交流研修) | 姉妹都市エストニア共和国サク市及び友好都市モンゴル国ウランバートル市スフバートル区の中学生を受け入れ、研修・交流を通し、友好を深める | 小学生・中学生 | 生涯学習課 | |
| 56 | 少年センター情報誌「佐久っ子だより」の発行 | 子ども向け情報誌「佐久っ子だより」を年4回発行。市内の各保育園・幼稚園・小学校の子どもたちに配布するとともに、児童館・図書館等市内公的機関に設置し、広く市民に子ども向けの情報を提供する | 幼稚園児・保育園児・小学生 | 生涯学習課 | |
| 57 | 少年センター育成推進会活動費交付金 | 各地区の少年センター育成推進員と、地区育成会、支部PTA、子ども会等と連携した地域活動や地域体験活動に対して、補助金を交付し育成活動を支援する | 幼稚園児・保育園児・小学生・中学生・高校生 | 生涯学習課 | |

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 |
|--------------------|-------------------------|--|-----------------------------|--------|----------------|
| 58 | 青少年補導事業 | 街頭補導活動等の中で下校途中の児童・生徒への「愛のひと声」運動を実施する。市内の小・中・高等学校に訪問し、情報交換を実施する。公民館報に定期的に掲載している「少年センターだより」で、補導委員の補導活動状況や青少年を取り巻く問題等を掲載し、広く市民に啓発する | 小学生・中学生・高校生 | 生涯学習課 | |
| 59 | 子ども自習室の設置事業 | 生涯学習センター内に「子ども自習室」を設置し、子どもたちが安全に自主学習できる場を提供する | 小学生・中学生・高校生 | 振興文化課 | |
| ●子育て支援事業 | | | | | |
| 60 | つどいの広場事業 | 乳幼児を持つ保護者等を対象に子どもとともに参加し、身近な相談や交流ができるよう週3～5回5会場で開催する。また、子育て不安の軽減と育児知識の普及を図るため子育て育児講座などを開催する | 就学前児童と保護者等 | 子育て支援課 | |
| 61 | 子育てサロン事業 | 子育て真っ最中の保護者等の育児不安の軽減を図るため、就学前児童と保護者等が気軽に集まって遊びながら情報交換したり、悩みを相談できるよう、児童館で月1～2回開催（年300回程度）する。また、子育て不安の軽減と育児知識の普及を図るため子育て講話・食育講座などを開催する | 就学前児童と保護者等 | | |
| 62 | 多胎児を持つ親の会への支援「さくらんぼキッズ」 | 多胎児をもつ親と多胎妊婦を対象に子育てサロンを実施し、情報交換と交流の場の提供、多胎児育児を支援するための個別相談を行う | 多胎児の就学前児童と保護者等 | | |
| 63 | 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） | 就労等により保護者が昼間家庭にいない児童に対して、放課後や休日等の生活の場及び遊びを提供する事業。市は民設民営の放課後児童クラブに運営費を補助する | 放課後児童クラブ | | |
| 64 | 子育て家庭優待パスポート事業 | 18歳未満の子ども、もしくは妊婦がいる世帯に対して、地域の企業、店舗、施設が各種サービスを提供する | 18歳未満の子ども世帯・もしくは妊婦がいる世帯 | | |
| 65 | 家庭児童相談運営事業・家庭児童相談事業 | 児童の性格・生活習慣・学校生活・非行・家族環境等の養育問題について、子ども特別対策推進員及び家庭児童相談員が関係機関等と連携し相談を行う | 児童及びその家族 | | |
| 66 | 保育所巡回相談 | 市保育所障がい児利用検討委員が、公立保育所を訪問し、子どもに応じた対応方法の助言を行う | 児童・保護者・保育士 | | |
| 67 | 要保護児童対策地域協議会設置運営 | 要保護児童の早期発見及び適切な保護を図るため、関係機関等と情報交換・連携・協力を行う | 関係者 | | |
| 68 | 子育て短期支援事業 | 保護者の疾病その他の理由により家庭において児童の養育が一時的に困難となった場合、当該児童を一時的に児童養護施設等に入所させ養育し、児童の福祉の増進を図るとともに、家庭における子育てを支援する | 児童及び保護者 | | |
| 69 | チャイルドライン支援事業 | 子どもに寄り添う電話「チャイルドライン」を運営する団体を支援し、補助金を交付する | 運営団体 | | |
| 70 | オールマイティ1年生事業 | 体験学習施設等の利用料金を無償とすることで、子育て家庭を応援するとともに、観光復興を図り、交流人口創出の一助とする | 世界の小学1年生 | | 変更 |
| 71 | 子育て期の女性就業相談（県連携） | 子育て世代の女性に対し、就労に関する悩みや不安の軽減を図り、就労に向けての支援を行う。児童館及びつどいの広場で実施 | 子育て中の母親 | | |
| 72 | 子育て力向上事業 教えて！ドクター | 子どもの疾病に関する冊子の配付や無料アプリ、Web、小児科医による出前講座により、子育て世帯の不安軽減と子育て力向上を図る | 子育て中の保護者 | | |
| 73 | 子育てサークル活動支援事業 | 活動支援（情報提供・活動公開）を行い、ネットワーク化を促進する | 子育てサークル等 | | |
| 74 | 子育て支援情報の提供 | 福祉のしおり、赤ちゃん手帳により子育て支援情報を提供する | 子育て中の家庭等 | | |
| 75 | パパママフレ（子育て支援情報サイト） | 市の子育て支援情報を「パパママフレ（民間企業が運営する子育て支援情報サイト）」に掲載する | 市民 | | |
| 76 | 子育てなんでも相談室（利用者支援事業） | 教育・保育施設や各種子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう、身近な場所において、情報提供や相談助言等を行う | 妊婦及び子育て中の保護者等 | | |
| ●心身障がい児対策事業 | | | | | |
| 77 | 療育支援センター管理運営事業 | 児童福祉法に基づく「児童発達支援」施設として、障がい児等に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、健全な親子関係の形成のための指導援助を行うほか、障がい児に関する相談、講演会、関係者の研修会、情報交換のための事業を行う | 障がい児又は発達への気になる児童と保護者等及び関係機関 | 福祉課 | |
| 78 | 保育園等訪問相談事業（はぐくみ相談） | 市内保育園・幼稚園において、発達の気になる児童等について公認心理師等の専門知識を持つ職員が訪問し、保護者若しくは保育士等からの相談に応じて必要な助言、指導、発達検査等を実施する | 発達の気になる児童及び保護者、関係者 | | |
| 79 | 発達障がい児支援担当者連絡会議 | 庁内の保健、保育、福祉、教育の部署の関係者が一堂に会する機会を設け、発達の気になる児童等に係る支援施策の検討、情報共有、知識技能の向上等横断的な連携を図る | 発達支援関係職員 | | |
| 80 | 加配保育士研修 | 障がい児加配保育士等の資質向上を図る | 障がい児加配保育士 | | 子育て支援課 |
| ●子ども未来館 | | | | | |
| 81 | 子ども未来館運営事業 | 子どもたちの科学的探究心や自発的、創造的実践活動を通して、次代を担う子どもたちの未来への夢を育み健全な成長を図る | 幼児から大人 | 子育て支援課 | |

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 |
|-------------------|------------------------|---|-----------------------|--------|----------------|
| ●児童館事業 | | | | | |
| 82 | 児童館運営事業 | 19児童館の運営事業 | 小学生 | 子育て支援課 | |
| 83 | 児童館の日曜開館 | 日曜日における留守家庭児童等への対応として、岩村田児童館・中込児童館で実施 | 小学生 | | |
| 84 | 養護学校児童生徒の受け入れ | 重度の障害のある児童・生徒に遊びや活動の場を提供するため、児童生徒の受け入れを実施 | 養護学校児童・生徒 | | |
| 85 | 児童館午前中開放事業 | 小学生が利用しない平日の午前中に、親子で安心して遊ぶことができ、また、子育てに関する情報交換・交流の場として、5児童館を開放 | 就学前児童とその保護者 | | |
| 86 | 児童館に集まれ事業 | 休日の児童館において、大人のボランティアと接しながら、周辺の施設や自然を活用した活動・体験を行う事業 | 小学生 | | |
| ●児童保育・教育事業 | | | | | |
| 87 | 公立保育所運営事業 | 公立保育所15園の運営事業 | 公立保育所 | 子育て支援課 | |
| 88 | 私立保育所等委託事業 | 私立保育所9園・認定こども園1園・小規模保育事業所2園への児童保育の委託等実施 | 私立保育所・認定こども園・小規模保育事業所 | | |
| 89 | 私立幼稚園運営費補助金 | 私立幼稚園に対して運営費を補助し、教育環境の充実に支援 | 私立幼稚園 | | |
| 90 | 幼児教育・保育の無償化 | 保育所、認定こども園、幼稚園等を利用した際に要する費用の負担軽減 | 保育所・認定こども園・幼稚園等保護者 | | |
| 91 | 多子世帯の保育料軽減 | 多子世帯の子育てに要する経済的負担を軽減し、第3子以降を生み育てやすい環境を整えるため、第3子以降の子の保育所等保育料を無料とする | 多子世帯保護者 | | |
| 92 | 通園費補助事業 | 最寄りの保育所までの距離が4km以上ある遠距離通園児の保護者に対して通園費を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図る | 公立・私立保育所保護者 | | |
| 93 | 障がい児保育事業 | 集団保育が可能な保育を必要とする障がい児を保育所で受け入れる事業 | 就学前児童 | | |
| 94 | 延長保育事業 | 保護者の就労等を支援するため、認定時間（保育標準時間又は保育短時間）を超えて保育を実施する事業 | 就学前児童 | | |
| 95 | 乳児保育事業 | 働く保護者の就労と保育を支援するため、乳児を受け入れる事業 | 乳児 | | |
| 96 | 一時預かり（預かり保育）事業 | 保育所の一時預かり事業は、家庭保育が困難となる児童を保育所等で一時的に保育する事業。幼稚園の預かり保育は、通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに実施する事業 | 就学前児童 | | |
| 97 | 1歳児保育推進事業 | 国の保育士配置基準では、1人の保育士が6人の児童を保育することとされているが、充実した保育を実施するため1人の保育士が児童4人の保育を実施する事業 | 1歳児 | | |
| 98 | 病児・病後児保育事業 | 子育てと就労の両立を支援するため、病気又は病気の回復期にある児童を保育所等の専用スペースで一時的に預かる事業 | 1歳から就学前児童 | | |
| 99 | 広域入所保育事業 | 保護者の勤務等の都合により、居住地以外の市町村の保育所に児童を預けたり、受け入れる事業 | 就学前児童 | | |
| 100 | 保育所の地域活動事業 | 保育事業を通して未就園児、小学校低学年児童、高齢者との世代間交流を図る事業（未就園児交流等） | 市民 | | |
| 101 | 保育所における地域子育て支援拠点事業 | 子育て家庭に対し、育児相談・料理教室・講演会等を開催し、育児支援を行う事業 | 就学前児童とその家族 | | |
| 102 | 休日保育事業 | 休日に、保育を必要とする児童の保育を行うことにより、子育てと就労の両立を支援する事業 | 保育所通所児童 | | |
| 103 | 保育キーパー事業 | 児童と高齢者の交流を図ることにより児童の情操教育と高齢者のいきがいくりを推進する事業 | 公立保育所 | | |
| 104 | 公立保育園苦情相談窓口の設置 | 公立保育園の児童・保護者の苦情・要望等に、迅速かつ適切に対応するため、第三者を加えた苦情相談窓口を設置し、保育サービスの向上を図る | 公立保育所 | | |
| 105 | すくすく佐久っこ運動あそびプログラム実践事業 | 脳の成長が最も著しい時期と言われる保育園児、幼稚園児に対して適切な幼児全身運動プログラムを実施する。また実践保育士を養成する研修を実施する | 園児・保育士 | | |
| 106 | 保育施設等整備事業 | 公立保育所の大規模修繕及び改築 | 公立保育所 | | |
| 107 | 保育施設改修・維持管理事業 | 保育所の施設改修、維持管理 | 保育所 | | |
| 108 | 信州やまほいく | 信州型自然保育認定制度により信州型自然団体（普及型）に認定されており、地域の自然を生かした自然保育を実施 | 保育所 | | |
| 109 | 保育士修学資金貸付事業 | 指定保育士養成施設での修学に係る資金を貸し付ける事業 | 指定保育士養成施設に在学中の者 | | |
| ●児童遊園補助事業 | | | | | |
| 110 | 児童遊園遊具設置等事業 | 児童に健全な遊びを与え、健康増進を図り、情操豊かにするとともに、事故から児童を守るために、区が行う児童遊園の遊具設置、更新、補修又は撤去に要する経費に対し、補助を行う | 区 | 子育て支援課 | |
| ●母子等福祉事業 | | | | | |
| 111 | 児童扶養手当支給事業 | ひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童福祉の増進を図る | ひとり親家庭等 | 子育て支援課 | |
| 112 | 県母子父子寡婦福祉資金貸付事業 | ひとり親家庭等の経済的自立、福祉増進を図るため、県の貸付制度の相談及び申請窓口事務を行う | ひとり親家庭等 | | |
| 113 | 高等職業訓練促進給付金事業 | ひとり親家庭の母または父が、看護師等の経済的な自立に効果的な資格を取得することを支援するため、1年以上養成機関等で修学する場合、生活費の負担軽減のため訓練促進費を支給する | ひとり親家庭の母または父 | | |

| No. | 事業名 | 事業内容 | 対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 |
|-------------------|------------------------------|--|---|--------|----------------|
| 114 | 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 | ひとり親家庭の母または父、もしくはその子が高等学校卒業程度認定試験の合格を目指し、対象講座を受講する受講費の一部を助成する | ひとり親家庭の母または父または子ども | 子育て支援課 | |
| 115 | 自立支援教育訓練給付事業 | ひとり親家庭の母または父が、就労に必要な教育訓練講座を受講した場合、指定講座の修了者に給付金を支給する | ひとり親家庭の母または父 | | |
| 116 | 母子・父子・寡婦福祉会補助事業 | 会の運営基盤強化を図るため補助金を交付する | 母子・父子・寡婦福祉会 | | |
| 117 | 助産施設入所事業 | 保健上必要があるにも関わらず、経済的理由により入院助産ができない妊産婦に対して、妊娠、出産の適正時期に助産施設への入所を支援する | 妊産婦 | | |
| 118 | 母子生活支援施設入所事業 | 配偶者のない女子等の監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子生活支援施設で保護する | 該当する保護者及び児童 | | |
| 119 | 母子父子家庭等福祉医療費給付事業 | ひとり親家庭で18歳までの子どもを養育している者とその子ども、父母のいない子どもが、医療機関で保険診療を受けた場合、医療費の自己負担分について助成をする（一部要件により20歳まで延長） | 18歳までの子どもを養育するひとり親等とその子ども（一部要件により20歳まで延長） | 国保医療課 | |
| 120 | プレママ福祉医療費給付事業 | 母子手帳交付月の初日又は転入日から出産（流産・死産含む）の翌月末までの間にある妊産婦が、医療機関で保険診療を受けた場合、医療費の自己負担分について助成をする | 妊産婦 | | |
| ●障がい児福祉事業 | | | | | |
| 121 | 特別児童扶養手当支給事業 | 障がいのある児童の福祉の増進を図ることを目的に支給する | 20歳未満の対象児を養育している父母等 | 福祉課 | |
| 122 | 障害児福祉手当支給事業 | 常時介護を要する在宅の重度障がい児に対して支給する | 20歳未満の対象児 | | |
| 123 | 心身障がい児タイムケア事業 | 在宅の心身障がい児が家庭において一時的に介護できない時、障がい児を民間団体又は近隣等に介護を委託する事業（年間300時間以内） | 18歳未満の在宅の対象児 | | |
| 124 | 軽度・中等度難聴児補聴器購入費等補助金交付事業 | 身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、早期に補聴器を装用することにより、言語の習得および周囲とのコミュニケーションの円滑化を図るため、補聴器の購入又は修理に係る費用に対し補助をする | 18歳未満の対象児 | | |
| 125 | 障がい児通園施設利用児療育支援事業 | 障がい児通園施設を利用する障がい児の利用者負担を軽減する | 7歳未満の対象児 | | |
| ●障害者自立支援給付費（児童分） | | | | | |
| 126 | 補装具給付事業 | 身体障害者手帳所持者が購入する補装具（車椅子、短下肢装具等）の購入費を給付する | 18歳未満の対象児 | 福祉課 | |
| 127 | 居宅介護サービス事業（ホームヘルプサービス） | 居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う | 18歳未満の対象児 | | |
| 128 | 児童デイサービス事業（児童発達支援放課後等デイサービス） | 通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う | 18歳未満の対象児 | | |
| 129 | 短期入所サービス事業（ショートステイ） | 保護者の病気その他の理由により児童福祉施設等に短期間入所し、必要な支援を行う | 18歳未満の対象児 | | |
| 130 | 行動援護サービス事業（外出支援） | 著しく判断能力が制限されている児童の外出を支援する | 18歳未満の対象児 | | |
| 131 | 育成医療 | 身体に障がいのある児童が、障がいを除去したり、障がいの程度を軽くしたりするために指定医療機関で必要な医療を受けた場合に医療費を助成する | 18歳未満の対象児 | | |
| ●障害者地域生活支援事業（児童分） | | | | | |
| 132 | 相談支援事業 | 障がい児、保護者、介護者等からの障がい児の福祉に関する各種相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う | 身体・知的・精神の障がい児とその保護者、介護者 | 福祉課 | |
| 133 | 日中一時支援事業 | 障がい児の家庭の就労支援及び介護者の休息を目的として、障がい児の日中における活動の場を確保する | 18歳未満の身体・知的・精神の障がい児 | | |
| 134 | 移動支援事業 | 屋外での移動に困難がある障がい児について、地域での自立生活及び社会参加の促進を図る為、外出のための支援を行う | 18歳未満の身体・知的・精神の障がい児 | | |
| 135 | 障害者訪問入浴サービス事業 | 家庭において入浴が困難な重度の障がい児に対して、利用者宅で介助による入浴又は簡易浴槽による入浴サービスを行う | 18歳未満の身体障がい児 | | |
| 136 | 日常生活用具給付等事業 | 重度障がい児に対し、日常生活支援のための用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図る | 18歳未満の身体・知的の障がい児 | | |
| ●児童手当・福祉医療費 | | | | | |
| 137 | 児童手当支給事業 | 児童を養育する保護者のうち、中学校修了までの児童を養育する者に児童手当を支給する（所得制限あり） | 児童の養育者 | 子育て支援課 | 変更 |
| 138 | 子ども福祉医療費給付事業 | 満18歳の年度末までの子どもが医療機関で保険診療を受けた場合、医療費の自己負担分について助成をする | 満18歳の年度末までの子ども | 国保医療課 | |
| 139 | 未熟児養育医療給付事業 | 養育のため指定医療機関へ入院して治療を行う必要のある子どもに対して医療の給付を行う（1歳の誕生日の前々日まで） | 出生体重が2000g以下又は身体の発育が未熟なまま出生した1歳未満の子ども | | |

IV 令和4年度 高齢者支援メニュー 一覧表75のメニュー

| No. | 事業名 | 事業内容及び対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 | |
|---------------------------------|-------------------------------|---|--------|----------------|--|
| ●生きがい対策事業 | | | | | |
| 1 | 長寿お祝い事業 | 生きがい対策として市長が100歳及び男女最高齢の高齢者宅を訪問し、長寿をお祝いする | 高齢者福祉課 | | |
| 2 | 米寿お祝い事業 | 生きがい対策として88歳の高齢者の方に祝状等を贈呈し米寿をお祝いする | | | |
| 3 | シルバー人材センター運営事業 | 生きがい対策として高齢者の就業機会を確保するための支援を行う | | | |
| 4 | 創錬の森 市民大学 | 65歳以上の市民の方を対象に、生きがい創出と知識向上を目的として講義や創作活動等の学習を行う | 中央公民館 | | |
| 5 | 創錬の森 市民大学大学院 | 創錬の森市民大学修了者を対象に、地域活動・団体活動のリーダーを養成する学習を行う | | | |
| 6 | 在日外国人高齢者障害者特別給付金支給事業 | 国民年金の対象とならない在日外国人高齢者に給付金を支給する | 高齢者福祉課 | | |
| 7 | 敬老会補助事業 | 各地区で開催される敬老会に対し補助金を交付する | | | |
| 8 | シニアクラブ活動助成事業 | 生きがい対策としてシニアクラブ活動に対し助成・支援を行う | | | |
| 9 | 老人福祉センター運営事業 | 高齢者の生きがい対策の拠点である老人福祉センターの運営及び支援等を行う | | | |
| 10 | 介護予防施設運営事業 | 春日交流センター、望月生きがいセンター、シルバーサロン等の介護予防施設の運営を行う | | | |
| ●生活支援対策事業 | | | | | |
| 11 | 高齢者訪問・相談・指導事業 | 保健師などにより生活支援等の相談指導を行う | 高齢者福祉課 | | |
| 12 | 高齢者等実態調査事業 | 各種福祉施策に役立てるため、民生児童委員の協力のもと、65歳以上の高齢者等の実態把握を行う | | | |
| 13 | 高齢者外出支援サービス事業 | 概ね65歳以上の市民税非課税世帯の高齢者等であって、公共交通機関を利用することが困難な方に、通院等のための移送サービスの支援を行う | | | |
| 14 | 家庭ごみ等収集支援事業 | 概ね65歳以上の高齢世帯であって、身体的機能低下により、家庭ごみ及び粗大ごみの搬出が困難な世帯に対し、家庭ごみの収集支援を行う | | 拡大 | |
| 15 | 生活管理指導短期宿泊事業 | 介護保険の対象とならないが、概ね65歳以上で援助が必要な高齢者を、養護老人ホームに短期間入所させ、生活の支援を行う | | | |
| 16 | 高齢者生活支援ハウス運営事業 | 概ね65歳以上で、要介護認定を受けておらず、自宅で生活することが困難な状況であると入居判定会議において認められた方に対して入居施設を提供する | | | |
| 17 | ひとり暮らし高齢者等見守り事業 (福祉基金活用事業) | 地域での見守りを目的に、ひとり暮らしの虚弱な高齢者等に乳酸菌飲料を配布する | | | |
| 18 | 老人短期入所介護施設措置 ショートステイ事業 | 虐待などやむをえない理由による緊急避難措置として、要介護者を特別養護老人ホーム等に短期入所措置を行う | | | |
| 19 | ひとり暮らし高齢者緊急通報システム 事業 | 概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者に緊急時における援護を迅速に行うため通報装置を設置し、安心して生活できる環境を整備する | | | |
| 20 | 日常生活用具貸与事業 | 高齢者の福祉向上を図るため、車イス等の貸与を行う | | | |
| 21 | 馬坂・広川原地域在宅介護支援に対する 助成事業 | 馬坂・広川原地域の高齢者に訪問介護サービスを提供する事業者に助成を行う | | | |
| 22 | 馬坂・広川原地区移動車両運行事業 | 交通手段の確保困難な馬坂・広川原地区の高齢者に対し、運行サービスを行う | | | |
| 23 | 要援護高齢者福祉施設入所措置（養護） | 環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者を養護老人ホームに入所措置する | | | |
| 24 | ひとり暮らし高齢者等住宅補修等整備 事業 | ひとり暮らし等の高齢者の軽微な住宅補修（雨漏り等）をボランティアにより実施する | | | |
| 25 | 高齢者にやさしい住宅改良促進事業 | 要援護高齢者が在宅で自立した生活が続けられるよう住宅の改修の補助を行う | | | |
| 26 | 高齢者訪問理美容サービス事業 | 概ね65歳以上の市民税非課税世帯の在宅高齢者のうち、要介護3以上の認定を受け、理美容店に出向くことが困難な方に対し、市内理美容業者が居宅を訪問し理美容サービスを行う 市は、理美容業者に対し出張経費の助成を行う | | | |
| ●介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業） | | | | | |
| 27 | 介護予防・生活支援サービス事業 (訪問介護) | 要支援者等の居宅において、訪問介護員等による身体介護、生活援助を行うサービス | | 高齢者福祉課 | |
| 28 | 介護予防・生活支援サービス事業 (訪問型サービスA) | 要支援者等の居宅において、自立支援のために調理、掃除等の生活援助等を行うサービス | | | |
| 29 | 介護予防・生活支援サービス事業 (訪問型サービスC) | 要支援者等に対して、日常生活動作等の改善、閉じこもり予防等のために保健・医療の専門職等が訪問し、必要な相談指導等を短期集中的に行うサービス | | | |

| No. | 事業名 | 事業内容及び対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 |
|------------------|-------------------------------|---|--------|----------------|
| 30 | 介護予防・生活支援サービス事業 (訪問型サービスD) | 要支援者等に対して、住民主体による移動支援を提供するサービス | 高齢者福祉課 | |
| 31 | 介護予防・生活支援サービス事業 (通所介護) | 要支援者等に対して、通所による生活機能向上及び身体機能向上のための機能訓練を行うサービス | | |
| 32 | 介護予防・生活支援サービス事業 (通所型サービスA) | 要支援者等に対して、閉じこもり予防や自立支援のために、通所による運動やレクリエーション等を提供するサービス | | |
| 33 | 介護予防・生活支援サービス事業 (通所型サービスB) | 要支援者等に対して、体操・運動等の活動等を行う集いの場を提供し、閉じこもり等の防止を支援する住民主体によるサービス | | |
| 34 | 介護予防・生活支援サービス事業 (通所型サービスC) | 要支援者に対して、通所により、保健・医療の専門職が短期集中的に指導し、運動機能向上を図るサービス | | |
| 35 | 75歳・80歳おたっしや訪問指導事業 | 75歳・80歳の介護保険サービスを利用していない方を対象に、医療専門職が自宅を訪問し、健康状態や生活状況の確認や介護予防に関する普及啓発、各種サービスの情報提供を行う | | |
| 36 | 脳の健康度測定事業 | 高齢者の認知機能の水準や認知機能の変化を測定し、要支援者の把握や認知症予防に対する意識を高める | | |
| 37 | 脳いきいき健康教室 | 脳の健康度測定を受けた方等を対象に、認知症予防のための運動や講話を行う | | |
| 38 | はつらつ音楽サロン事業 | 65歳以上の見守りや介助を必要としない方(介助者がいれば参加可)を対象に、音楽を通して右脳を刺激し、認知症の予防を図る | | |
| 39 | 転倒骨折予防事業 (ほねぶと健康クラブ) | 65歳以上の見守りや介助を必要としない方を対象に、転倒骨折予防を中心とした介護予防の知識の普及啓発の活動を推進する | | |
| 40 | 地域リハビリテーション事業 | 公民館等にてリハビリ専門職等が出向き、地域の高齢者が適切な運動やリハビリを受ける機会を提供する。また、地域包括支援センター等の職員とリハビリ専門職等が訪問し、自立に向けた助言を行う | | |
| 41 | 認知症講演会 | 専門医等による講演を開催し、認知症についての正しい知識の普及・啓発を図る | | |
| 42 | 健康長寿体操推進事業 | 高齢者の健康づくりの一環として、健康長寿体操の普及を図る。また、健康長寿体操の習慣化を進めるため、健康長寿体操DVDやCDの貸し出し、普及活動を推進する | | |
| 43 | 健康教育・相談事業 | 介護予防の知識の普及のため、各公民館等において、介護予防教室及び相談を行い、健康維持を図る | | |
| 44 | フレイル予防教室 | 市内に住む75～84歳の方で、前年度健診結果においてI度高血圧に該当した方を対象に、フレイルチェックやフレイル予防講話を行い、フレイル予防について普及啓発する | | 新規 |
| 45 | 生活習慣病等重症化予防事業 | 生活習慣病の重症化による要介護状態への移行を予防するために、健診結果から主に高血圧・糖尿病の未治療者及びコントロール不良者、低栄養者、慢性腎臓病(CKD)の疑いのある方を対象に、保健指導を実施する | | |
| 46 | 栄養相談事業 | 栄養士による栄養講話・栄養相談を行う | | |
| 47 | 介護予防指導者養成事業 (お達者応援団育成塾) | 基礎講座とレベルアップ講座を設け、基礎講座では介護予防に役立つ知識を学び、レベルアップ講座では介護予防教室などを開催できる人材を育成する | | |
| ●包括的支援事業(地域支援事業) | | | | |
| 48 | 地域包括支援センター運営事業 | 高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを設置し、各種相談・福祉サービスの調整を行う | 高齢者福祉課 | |
| 49 | 在宅医療・介護の連携体制推進事業 | 医療介護連携推進協議会の設置や市民公開講座を開催し、地域の医療と介護の課題を抽出しながら、市民が必要な医療や介護サービスを安心して受けられる地域づくりを目指す | | |
| 50 | 生活支援体制整備事業 | 高齢者に対し、多様な生活支援サービスが提供される体制を整えるために、各地域包括支援センター毎に生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域における資源や課題の情報共有・協議を行う場として協議体を設置する | | |
| 51 | 認知症にやさしい地域づくり ネットワーク事業 | 認知症や高齢者虐待に対する地域住民の理解を深め、地域での見守り・支援体制を構築するために、認知症にやさしい地域づくりネットワーク運営委員会を開催する | | |
| 52 | 認知症初期集中支援推進事業 | 認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を専門職が訪問し、対象者を適切な医療・介護サービスにつなぐ等、初期の支援を集中的(概ね6か月間)に行う | | |
| 53 | 認知症地域支援推進員配置事業 | 認知症の人及びその家族に対して、適切なサービスを提供できるよう支援する専門職員を配置し、医療と介護との連携を図る認知症専門医を嘱託医として配置し、認知症に関する専門的知識を活かした助言、指導等を行う | | |

| No. | 事業名 | 事業内容及び対象者 | 担当課等 | 新規 変更 拡大 |
|----------------------------|----------------------------|---|---------------|----------------|
| 54 | オレンジカフェ座談会 (認知症介護者支援事業) | 若年認知症を含めた認知症の人やその介護者及び介護関係者を対象に、 介護相談や介護者同士の交流を行う | 高齢者 福祉課 | |
| 55 | 地域ケア会議推進事業 | 市と地域包括支援センターが連携・協働し、地域ケア会議の円滑な実施 に向けた環境を整備する | 高齢者 福祉課 | |
| ●任意事業・その他事業（地域支援事業） | | | | |
| 56 | 介護給付費等費用適正化事業 | 介護サービスが適正に提供されているか検証するため、ケアプランの 点検及び必要に応じ住宅改修の現地調査を行う | 高齢者 福祉課 | |
| 57 | 家族介護者支援事業 | 家族介護者や近隣の援助者等を対象に、介護の負担を軽減するため、 介護相談・介護者同士の交流を図る | | |
| 58 | 認知症カフェ（オレンジカフェ）設立 支援事業 | 認知症状の悪化防止、家族の介護負担の軽減及び地域住民への啓発を 目的とした認知症カフェ（オレンジカフェ）を設立しようとする者に 対し、設立に要する費用を補助する | | |
| 59 | 認知症はいかい高齢者家族支援 サービス事業 | はいかいのある高齢者の生命の安全確保と早期発見のため、行方不明 になった場合に使用するGPSシステムの初期費用の一部を補助する | | |
| 60 | 住宅改修支援事業 | 介護保険サービスのケアプランの提供を受けていない要介護（支援） 認定者が住宅改修を行う際、申請に必要な理由書を作成した居宅介護 支援事業所に対して経費を助成する | | |
| 61 | 成年後見制度利用支援事業 | 認知症、知的障害又は精神障害の状態にあるため、判断能力が不十分 で日常生活を営むことに支障がある者であって、かつ、身寄りがない 高齢者に対し、市が老人福祉法の規定に基づき、成年後見制度利用に 向け、後見開始等の審判請求等の支援を行う | | |
| 62 | 権利擁護相談事業 | 司法書士による、成年後見制度利用・多重債務・高齢者虐待等、権利 擁護に関する相談を行う | | |
| 63 | 認知症サポーター等養成事業 | 地域や職域において、認知症サポーターを養成し、認知症の人やその 家族を支援する地域づくりを推進する | | |
| 64 | 高齢者緊急時あんしん情報提供事業 | 高齢者実態調査の情報を基に、消防署での緊急対応及び災害予防活動 に活かすための情報共有事業を行う | | |
| ●保健福祉事業 | | | | |
| 65 | 介護用品給付事業 | 要介護認定者を在宅で介護している非課税世帯の家族に対して、紙オ ムツなどの介護用品を給付し、介護者の生活の支援を行う | 高齢者 福祉課 | |
| ●医療関連対策事業 | | | | |
| 66 | 在宅要介護者等歯科往診治療事業 | 通院困難な在宅要介護者に対し歯科医師が歯科往診治療を行うにあ たり、歯科衛生士が事前訪問し、円滑な往診への支援を行う | 健康 推進 課 | |
| 67 | 在宅要介護者等訪問歯科健診事業 | 在宅要介護者宅を歯科医師・歯科衛生士が訪問し、歯科健康診査及び 歯科保健指導等を実施 | | |
| 68 | 在宅要介護者等訪問歯科指導事業 | 在宅要介護者宅を歯科衛生士が訪問し、歯科保健指導等を行う | | |
| ●予防接種事業 | | | | |
| 69 | 肺炎球菌定期予防接種の実施 | 当該年度に65歳から100歳まで5歳刻みの年齢を迎える過去に接種さ れていない方に対して定期接種を実施する | 健康 推進 課 | |
| 70 | 肺炎球菌任意接種費用の助成 | 66歳以上の定期接種対象外で過去に接種されていない方に対して任意 接種費用の一部助成を行う | | |
| 71 | インフルエンザ予防接種の実施 | 65歳以上の高齢者に対し、インフルエンザ予防接種を実施する | | |
| ●その他事業 | | | | |
| 72 | 施設整備促進事業 | 地域密着型特別養護老人ホーム等老人福祉施設の整備を推進する | 高齢者 福祉課 | |
| 73 | 特別養護老人ホーム運営事業 | 要介護認定で要介護3以上を受けた常時介護を要する高齢者の入所施 設として、公設民営の特別養護老人ホーム（シルバーランドみつい、 シルバーランドきしの、結いの家）の運営を行う | | |
| 74 | あいとびあ白田運営事業 | 地域の総合福祉施設及びふれあいの拠点として、住民の福祉の増進と 意識の高揚を図る施設として運営を行う | | |
| 75 | 望月総合支援センター運営事業 | 総合福祉施設として、住民の福祉の増進と意識の高揚を図る施設とし て運営を行う | | |

V 令和3年度事業の概要

佐久市における保健予防・健康づくり事業のあゆみ

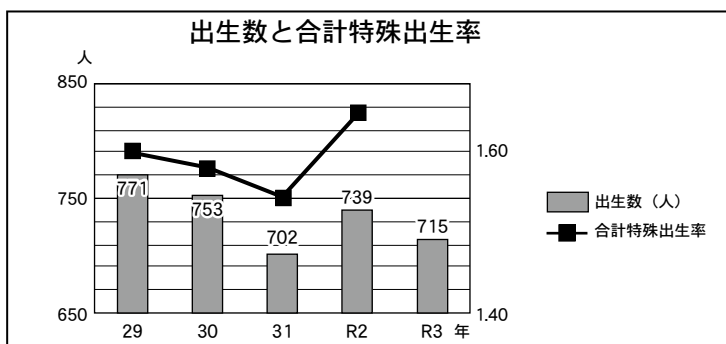
1 母子保健事業

(1) 年次別出生率の推移 (出典：長野県毎月人口異動調査 各年1月1日現在)

| 年 | 総人口 (人) | 出生数 (人) | 出生率 (人口千対) |
|-----|---------|---------|------------|
| H29 | 99,172 | 771 | 7.8 |
| H30 | 99,018 | 753 | 7.6 |
| H31 | 98,895 | 702 | 7.1 |
| R2 | 98,601 | 739 | 7.5 |
| R3 | 98,145 | 715 | 7.3 |

(出典：健康づくり推進課資料)

| 年 | 合計特殊出生率 |
|-----|---------|
| H29 | 1.61 |
| H30 | 1.59 |
| H31 | 1.55 |
| R2 | 1.66 |
| R3 | |



※合計特殊出生率とは、一人の女子が一生の間に生む子どもの数である。

(2) 妊娠届出状況

1) 妊娠届出者の妊娠週数別内訳

(単位：人)

| 届出総数 | 満11週以内 | 満12～19週 | 満20～27週 | 満28週以上 | 出産後 | 不詳 |
|------|--------|---------|---------|--------|-----|----|
| 675 | 651 | 17 | 1 | 1 | 0 | 1 |

2) 妊娠届出者の年齢別内訳及び初妊婦者の再掲

| 届出者年齢 | 20歳未満 | 20歳以上 25歳未満 | 25歳以上 30歳未満 | 30歳以上 35歳未満 | 35歳以上 40歳未満 | 40歳以上 |
|-------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 人 | 3 | 60 | 170 | 251 | 153 | 37 |
| 率 | 0.4 | 8.9 | 25.2 | 37.2 | 22.7 | 5.5 |
| うち初妊婦 | 3 | 31 | 101 | 81 | 41 | 8 |

(3) 産前学級「パパママ教室」

1) 目的 近年の核家族化や少子化に伴い、乳児とふれあう経験の少ない両親に育児に対する心構えや親の役割について学ぶ機会を提供し、やがて生まれる我が子への愛情を育む。

2) 対象 妊娠4～8か月頃の妊婦

3) 内容 平日コース

- 1回目：おなかの中の赤ちゃん、妊娠中の栄養、おなかをさわってみよう
- 2回目：おっぱいの手入れ・授乳、妊婦体操、腹帯の巻き方
- 3回目：出産後の育児、抱っこの仕方、栄養・減塩ワンポイント、妊婦体操、おむつの仕方、沐浴について

休日コース

- 前期教室：おなかの中の赤ちゃん、妊娠中の栄養、妊婦体操、おなかをさわってみよう

- 後期教室：出産後の育児、抱っこの仕方、栄養・減塩ワンポイント、妊婦体操、おむつの仕方、沐浴について

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、対象を妊婦のみ（家族の参加不可）とし実施

4) 実施状況

| | 平日コース | 休日コース | 計 |
|----------|-------|-------|-----|
| 開催回数（回） | 18 | 12 | 30 |
| 参加者数（人） | 158 | 115 | 273 |
| 内訳：妊婦（人） | 158 | 113 | 271 |
| 夫（人） | 0 | 2 | 2 |
| その他（人） | 0 | 0 | 0 |

5) まとめ

- 助産師や栄養士の講義に加え、妊婦に自分のお腹を触ってもらったり、赤ちゃん人形の抱っこをしてもらうなど体験を多く取り入れることで、自身の体に目を向け、産後の生活をイメージする良い機会となっている。
- 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルに応じて、平日・休日コースともにできるだけフリートークの時間を設けることで、妊婦同士の交流の場とすることができ、孤立感や不安の解消に繋がられている。
- 安心安全な出産や育児を迎えるために、教室を通して妊娠初期からの介入を継続していきたい。

(4) 乳児健診の状況

1) 乳児健診の受診状況

| | 対象児数 | 受診児数 (うち市外受診者) | 未受診児数 | 受診率 (%) | 異常あり (市外受診者除く) | 有所見率 (%) (市外受診者除く) |
|-------|------|-------------------|-------|---------|-------------------|-----------------------|
| 4か月児 | 729 | 719 (2) | 9 | 98.6% | 333 | 46.4% |
| 10か月児 | 737 | 736 (1) | 9 | 99.9% | 262 | 35.6% |

2) 乳児健診有所見者の状況

4か月児健診有所見者内訳においては、運動機能異常（開排制限、先天性股関節疾患疑い含む）、身体的発達異常などが多い。

○4か月児健診有所見者内訳

(単位：人)

| 所見内訳 | 身体的発達異常 | 精神発達 | 運動機能障害 | 視覚 | 聴覚 | その他神経系感覚器の異常 | 血液疾患 | 皮膚疾患 | 循環器系疾患 | 呼吸器系疾患 | 消化器系疾患 | 泌尿生殖器系疾患 | 先天異常 | 生活習慣上の問題 | 育児環境 | その他 | 合計 |
|------|---------|------|--------|----|----|--------------|------|------|--------|--------|--------|----------|------|----------|------|-----|-----|
| 総数 | 81 | 0 | 247 | 3 | 9 | 0 | 0 | 62 | 2 | 1 | 3 | 10 | 5 | 3 | 9 | 14 | 449 |
| 要観察 | 61 | 0 | 21 | 3 | 2 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 9 | 0 | 108 |
| 要精検 | 12 | 0 | 214 | 0 | 4 | 0 | 0 | 14 | 0 | 0 | 2 | 4 | 2 | 0 | 0 | 6 | 258 |
| 要治療 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 16 |
| 治療継続 | 8 | 0 | 11 | 0 | 3 | 0 | 0 | 30 | 2 | 1 | 0 | 4 | 2 | 0 | 0 | 6 | 67 |

※重複あり

10か月児健診有所見者内訳においては、運動機能障害（ハイハイ（－）、つかまり立ち（－）等）、身体的発育異常（身長・体重増加不良等）が多い。

○10か月児健診有所見者内訳

（単位：人）

| 所見内訳 | 身体的発育異常 | 精神発達 | 言語発達 | 熱性けいれん | 運動機能障害 | 視覚 | 聴覚 | その他神経系感覚器の異常 | 血液疾患 | 皮膚疾患 | 循環器系疾患 | 呼吸器系疾患 | 消化器系疾患 | 泌尿生殖器系疾患 | 先天異常 | 生活習慣上の問題 | 情緒行動 | 育児環境 | その他 | 合計 |
|------|---------|------|------|--------|--------|----|----|--------------|------|------|--------|--------|--------|----------|------|----------|------|------|-----|-----|
| 総数 | 187 | 1 | 0 | 0 | 204 | 3 | 3 | 6 | 0 | 30 | 3 | 2 | 2 | 24 | 1 | 3 | 1 | 3 | 20 | 493 |
| 要観察 | 130 | 0 | 0 | 0 | 115 | 1 | 0 | 1 | 0 | 7 | 0 | 1 | 0 | 10 | 0 | 2 | 1 | 3 | 4 | 275 |
| 要精検 | 44 | 0 | 0 | 0 | 72 | 2 | 0 | 4 | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 | 11 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 146 |
| 要治療 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 7 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 18 |
| 治療継続 | 11 | 1 | 0 | 0 | 15 | 0 | 2 | 1 | 0 | 11 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 | 54 |

※重複あり

3) 1歳6か月児健診受診状況

未受診者へのハガキや電話による受診勧奨を行い、受診率の向上を図る。

| 対象児数 | 受診児数 (うち市外受診者) | 未受診児数 | 受診率(%) | 異常あり (市外受診者除く) | 有所見率(%) (市外受診者除く) |
|------|-------------------|-------|--------|-------------------|----------------------|
| 732 | 713 (2) | 6 | 97.4% | 323 | 45.4% |

4) 1歳6か月児健診有所見者状況

有所見者内訳は、精神発達（指さし（－）、はめ板（－）等）、次いで身体的発育異常（身長3P以下、体重増加不良等）が多い。

○1歳6か月児健診有所見者内訳

（単位：人）

| 所見内訳 | 身体的発育異常 | 精神発達 | 言語発達 | 熱性けいれん | 運動機能障害 | 視覚 | 聴覚 | その他神経系感覚器の異常 | 血液疾患 | 皮膚疾患 | 循環器系疾患 | 呼吸器系疾患 | 消化器系疾患 | 泌尿生殖器系疾患 | 先天異常 | 生活習慣上の問題 | 情緒行動 | 育児環境 | その他 | 合計 |
|------|---------|------|------|--------|--------|----|----|--------------|------|------|--------|--------|--------|----------|------|----------|------|------|-----|-----|
| 総数 | 102 | 175 | 62 | 0 | 19 | 4 | 2 | 0 | 0 | 22 | 1 | 1 | 0 | 21 | 1 | 4 | 69 | 4 | 70 | 557 |
| 要観察 | 62 | 149 | 57 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 | 68 | 4 | 55 | 412 |
| 要精検 | 24 | 24 | 4 | 0 | 12 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 1 | 0 | 11 | 95 |
| 要治療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 治療継続 | 16 | 2 | 1 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 44 |

※重複あり

5) 1歳6か月児健診医療機関紹介児状況

(単位：人)

| 所見内訳 | 低身長・身長3P以下 | 体重増加不良・低体重 | 頭囲大・頭囲拡大 | その他発育所見 | 運動発達遅滞 | 言語発達遅滞 | 精神発達遅滞 | その他発達遅滞 | ○脚・X脚 | その他整形的所見 | 皮膚所見 | 耳鼻咽喉所見 | 心臓所見 | 停留精巣・移動精巣 | その他泌尿器所見 | 食物アレルギー | その他 | 合計 |
|------|------------|------------|----------|---------|--------|--------|--------|---------|-------|----------|------|--------|------|-----------|----------|---------|-----|----|
| 総数 | 1 | 2 | 3 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 6 | 3 | 2 | 2 | 1 | 12 | 1 | 1 | 6 | 45 |
| 要治療 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 7 |
| 要観察 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 | 0 | 2 | 15 |
| 異常なし | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 8 |
| 返書なし | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 15 |

6) 3歳児健診受診状況

対象者の中には保育園等で健診を受けている児もいるが、健診前の電話や未受診者への受診勧奨を行い、受診率99.2%となった。

| 対象児数 | 受診児数 (うち市外受診者) | 未受診児数 | 受診率(%) | 異常あり (市外受診者除く) | 有所見率(%) (市外受診者除く) |
|------|-------------------|-------|--------|-------------------|----------------------|
| 760 | 754 (4) | 8 | 99.2% | 384 | 51.2% |

7) 3歳児健診有所見状況

有所見者内訳は、泌尿生殖器系疾患、視覚の異常、身体的発育異常(身長・体重増加不良等)が多い。医療機関へ179名紹介され、視覚異常が最も多く医療へ繋がった。

(単位：人)

| 所見内訳 | 身体的発達異常 | 精神発達 | 言語発達 | 熱性けいれん | 運動機能障害 | 視覚 | 聴覚 | その他神経系感覚器の異常 | 血液疾患 | 皮膚疾患 | 循環器系疾患 | 呼吸器系疾患 | 消化器系疾患 | 泌尿生殖器系疾患 | 先天異常 | 生活習慣上の問題 | 情緒行動 | 育児環境 | その他 | 合計 |
|------|---------|------|------|--------|--------|----|----|--------------|------|------|--------|--------|--------|----------|------|----------|------|------|-----|-----|
| 総数 | 71 | 35 | 21 | 0 | 4 | 85 | 2 | 0 | 0 | 31 | 6 | 3 | 4 | 150 | 1 | 7 | 47 | 11 | 178 | 656 |
| 要観察 | 41 | 25 | 16 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 104 | 0 | 6 | 46 | 11 | 162 | 417 |
| 要精検 | 18 | 4 | 4 | 0 | 4 | 80 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 44 | 0 | 0 | 1 | 0 | 10 | 171 |
| 要治療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 |
| 治療継続 | 12 | 6 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 24 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 62 |

※重複あり

8) 3歳児健診医療機関紹介児状況

(単位：人)

| 所見内訳 | 低身長・身長3P以下 | 体重増加不良 | 頭囲大・頭囲拡大 | その他発育所見 | 運動発達遅延 | 言語発達 | 精神発達遅延 | その他発達遅延 | ○脚・X脚 | その他整形的所見 | 皮膚所見 | 耳鼻咽喉所見 | 心臓所見 | 停留精巣・移動性精巣 | その他泌尿器所見 | 食物アレルギー | 視力不良の疑い | 屈折異常の疑い | 斜視の疑い | その他眼所見 | 検尿結果所見 | その他 | 合計 |
|------|------------|--------|----------|---------|--------|------|--------|---------|-------|----------|------|--------|------|------------|----------|---------|---------|---------|-------|--------|--------|-----|-----|
| 総数 | 2 | 3 | 6 | 3 | 0 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 3 | 12 | 2 | 0 | 55 | 60 | 12 | 3 | 8 | 1 | 179 |
| 要治療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 要観察 | 1 | 3 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 0 | 28 | 34 | 8 | 2 | 0 | 0 | 88 |
| 異常なし | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 7 | 7 | 1 | 0 | 5 | 1 | 30 |
| 返書なし | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 17 | 15 | 2 | 1 | 3 | 0 | 50 |

(5) 妊婦・乳児一般・産婦健康診査の受診状況（受診票）

| 月 | 基本健診 (1回目) | 基本健診 (2回目以降) | 追加検査 ① | 追加検査 ② | 追加検査 ③ | 追加検査 ④ | 超音波検査 | 旧年度 | 合計 | 月 | 乳児一般 | 産婦 |
|----|---------------|-----------------|-------------|------------|------------|------------|------------|-----|--------|----|------------|------------|
| | (6,360円/件) | (5,760円/件) | (17,660円/件) | (1,810円/件) | (1,550円/件) | (3,600円/件) | (4,780円/件) | | | | (5,990円/件) | (5,000円/件) |
| | 件数 | 件数 | 件数 | 件数 | 件数 | 件数 | 件数 | 件数 | 件数 | | 件数 | 件数 |
| 4 | 65 | 629 | 63 | 110 | 68 | 43 | 231 | 2 | 1,211 | 4 | 71 | 100 |
| 5 | 50 | 603 | 50 | 103 | 57 | 48 | 231 | 1 | 1,143 | 5 | 54 | 92 |
| 6 | 58 | 690 | 56 | 98 | 48 | 56 | 220 | 0 | 1,226 | 6 | 58 | 86 |
| 7 | 54 | 661 | 54 | 108 | 62 | 48 | 237 | 0 | 1,224 | 7 | 62 | 116 |
| 8 | 50 | 648 | 50 | 124 | 65 | 72 | 214 | 0 | 1,223 | 8 | 63 | 98 |
| 9 | 48 | 688 | 48 | 118 | 57 | 53 | 202 | 0 | 1,214 | 9 | 52 | 107 |
| 10 | 53 | 656 | 53 | 106 | 52 | 70 | 197 | 0 | 1,187 | 10 | 49 | 110 |
| 11 | 56 | 613 | 55 | 90 | 51 | 35 | 201 | 0 | 1,101 | 11 | 56 | 111 |
| 12 | 62 | 577 | 60 | 101 | 56 | 51 | 216 | 0 | 1,123 | 12 | 54 | 129 |
| 1 | 57 | 551 | 59 | 81 | 43 | 48 | 185 | 0 | 1,024 | 1 | 45 | 76 |
| 2 | 63 | 582 | 63 | 95 | 49 | 37 | 214 | 0 | 1,103 | 2 | 51 | 81 |
| 3 | 58 | 634 | 59 | 102 | 51 | 53 | 214 | 0 | 1,171 | 3 | 64 | 102 |
| 合計 | 674 | 7,532 | 670 | 1,236 | 659 | 614 | 2,562 | 3 | 13,950 | 合計 | 679 | 1,208 |

妊婦・乳児一般・産婦健康診査については、長野県医師会、長野県助産師会との委託契約により実施している。

乳児一般健康診査は、出生届出時に交付して「7か月児健康診査」の受診票として使用している。

(6) 母と子のすこやか相談室

- 1) 相 談 日 本庁：月曜から金曜までの午前8時30分～午後5時
支所：月曜から金曜までの午前8時30分～12時
- 2) 相 談 担 当 保健師・助産師・看護師
- 3) 相 談 方 法 電話相談・来所による個別相談
- 4) 来 所 者 延 べ 数 5,359人
- 5) 電 話 相 談 2,809件
- 6) 相談内容内訳（複数相談あり）

妊婦保健指導…………… 697人
 出生時指導…………… 684人
 発育・発達相談…………… 1,286人
 栄養相談…………… 155人
 歯科相談…………… 22人
 育児不安…………… 34人
 健診・予防接種…………… 1,320人
 その他育児全般…………… 723人

(7) 子育てママさんサポート事業

目的 近年、核家族化等乳幼児を取り巻く環境が大きく変化する中で、家庭や地域における養育機能が低下してきている。

本事業は、本来子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問等による支援を実施することにより、当該家族において安定した子どもの養育が可能となることを目的とする。

子育てアンケート実施数…………… 710件
アンケートよりフォローになった数…………… 38件

お父さんアンケート実施数…………… 428件
アンケートよりフォローになった数…………… 10件

訪問対象者数 (R3.4.1～R4.3.31) …………… 686件
フォローになった件数 EPDS 9点以上を含む … 99件

フォロー方法

| 方法 | 実件数 | 述べ件数 |
|----------|-----|------|
| 継続訪問 | 22 | 71 |
| 電話相談 | 75 | 193 |
| 健診教室フォロー | 79 | 133 |
| 委託 | 2 | 2 |
| その他 | 24 | 52 |

※実件数は、方法間での重複あり

フォローとなった件数で支援会議で検討された件数…………… 3件

フォローとなったケースで医療機関等につなげた件数

医療機関…………… 4件
児童相談所…………… 3件
その他（助産師）…………… 1件
（保健所）…………… 0件
（保育園）…………… 7件

(8) 産後ケア事業

目的 出産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。

1) アウトリーチ型

①対象 出産後生まれた子がおおむね1歳6か月になるまでの母子

②実績 人数 109人

延人数 142人 (1回目 108人、2回目 34人)

申請理由として最も多かったのは「授乳・乳房ケア」で83件、次に多かったのが「身体的な不調や回復の遅れ」で74件だった。

利用者の感想より、「不安が解消された」「ストレスが軽減された」など聞かれ、身体的支援だけでなく、心理的な支援にもつながっている。

2) ショートステイ型

①対 象 出産後生まれた子が1歳になるまでの母子

②実 績 実人数 14人

延日数 88日 (一人あたり平均6.3日)

申請理由として多いのは、「サポート不足」であり、コロナ禍で里帰りができないことや遠方の親が手伝いに来られないことなどが影響していると考えられる。

利用者の感想からは、育児手技の獲得だけでなく、母の休息や不安解消にもつながっている様子が窺え、自宅に帰ってから安心して育児をするための手助けとなっている。

(9) 乳幼児家庭訪問・こんにちは赤ちゃん事業

1) 対 象 者 新生児(乳児を含む) 全戸
 幼児 健診などにおいて必要とされる場合

2) 訪問担当者 保健師・助産師(委託職員9名)

3) 実施状況

| | |
|------------------------|-----|
| 新生児・乳幼児訪問件数 | 686 |
| (再掲) | |
| 医療機関からの紹介 (その内訪問件数) | 219 |
| 他市町村への依頼 | 19 |

紹介内容(重複あり)

| 項 目 | 数 | 項 目 | 数 | 項 目 | 数 |
|--------|----|----------|----|-----------|-----|
| 低出生体重児 | 28 | 多呼吸 | 1 | 家庭環境・育児不安 | 28 |
| 多胎 | 10 | 胎便吸引症候群 | 1 | 心室中隔欠損 | 2 |
| 呼吸障害 | 15 | 高ビリルビン血症 | 3 | 母 外国人 | 4 |
| 早産 | 12 | 若年初産婦 | 5 | 母 精神科既往あり | 21 |
| 胎児仮死 | 2 | 除脈 | 0 | その他 | 117 |
| 低血糖 | 3 | 黄疸 | 32 | 合計 | 284 |

(10) 離乳食教室「はい あーんして」

1) 目 的 子育てについてのさまざまな情報が発信される中で、離乳食の進め方、作り方、与え方等に不安を持つ保護者が増えている。講義やすりつぶし体験を通し、安心して離乳食づくりができるよう、支援していく。

2) 対 象 者 生後3～4か月頃の児を持つ家族・希望者

3) 内 容 ・離乳食作り、進め方についての講義
 ・すりつぶし体験 ・手遊び紹介 ・個別相談

- 4) 実施状況 開催回数…………… 30回
 参加者数…………… 330人
 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、少人数・講義形式で実施。
 栄養士の他、保健師、助産師、保育士などが託児にあたることで参加者は安心して教室に参加でき、離乳食の他、育児全般の悩みや、産後の健康状態などについても相談できている。

(11) 離乳食教室「もぐもぐできるかな」

- 1) 目的 離乳食の試食を通して形態や食材などの進み具合を確認し、今後の離乳食の進め方について支援する。
 栄養相談の他、保健師が子育ての相談も行う。
- 2) 対象者 生後8～9か月の児とその家族
- 3) 内容 ・個別相談
- 4) 実施状況 開催回数…………… 30回
 参加者数…………… 269人
 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、個別相談形式で実施。個々の進行に応じたアドバイスを行うことで、保護者の不安解消につながっている。

(12) いきいき相談

①心理相談

- 開催回数…………… 12回
 相談件数…………… 32件
 (うち初回相談) …………… 28件

②言語相談

- 開催回数…………… 14回
 相談件数…………… 62件
 (うち初回相談) …………… 23件

主な相談内容は言葉の相談(言葉の遅れ・発音不明瞭等)、社会性の発達(落ち着きがない、こだわりがある等)、育児の相談などである。

地区の担当保健師が相談に同席し、実施後は、必要に応じ「いきいき相談」の継続や、「元気っ子クラブ」、「療育支援センター」、「病院での発達外来の受診」等の紹介をしている。

(13) 発達支援教室「元気っ子クラブ」

- 1) 目的 幼児健診等で、心理的・社会的発達面から継続的な発達支援が必要な児及び養育姿勢や母子関係に支援が必要な保護者に対して、複数の専門スタッフが継続をして関わることにより、親子の健やかな成長を図ることを目的とする。
- 2) 対象者 おおむね1歳半～就園前の児
- 3) 内容 保健師・栄養士・保育士などが運営にあたり、言語聴覚士、作業療法士等による療育指導を含めた遊びや季節の行事などを実施。毎回テーマに合わせた話や、参加者同士のフリートーク・個別相談も行っている。教室を通し児の発達・家族支援を行う。

- 4) 実施状況 開催回数…………… 22回 ※6月より、月2回実施
 参加延べ組数…………… 175組
 参加延べ数…………… 389人

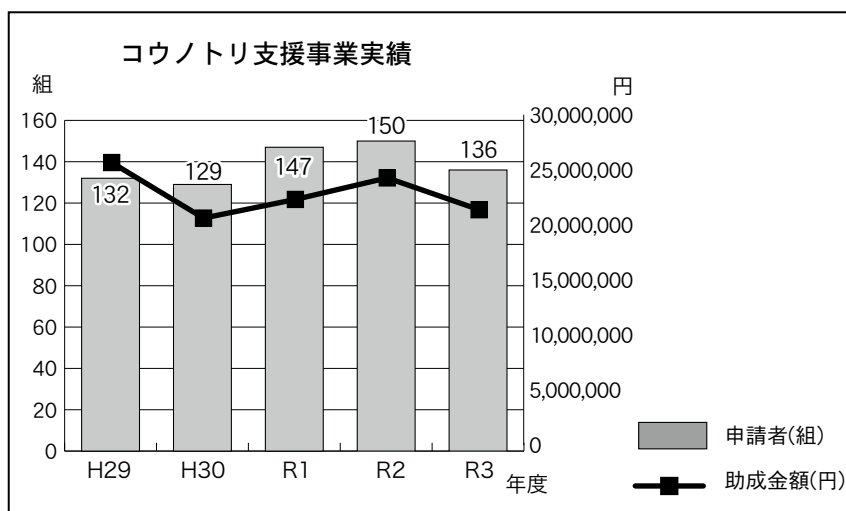
(14) 思春期・赤ちゃんふれあい体験学習

- 1) 目的 少子化が進む中、乳幼児と接する機会が少ない中学生が増えている現状がある。乳児と触れ合うことにより乳児についての理解を深め、さらに乳幼児を育てている親や助産師の話から子育ての喜びや苦勞を知り、自分を取り巻く周囲の思いに関心を持つ機会とする。また、命の大切さやいたわり、思いやりの心を育てることで母性・父性を育む。
- 2) 対象者 東中学校3年生、臼田中学校3年生
- 3) 実施回数 2回
- 4) 場所 東中学校、臼田中学校
- 5) 内容 新型コロナウイルス感染症の拡大のため、ふれあい体験の代替として、ライフデザイン講座を各中学校で実施。

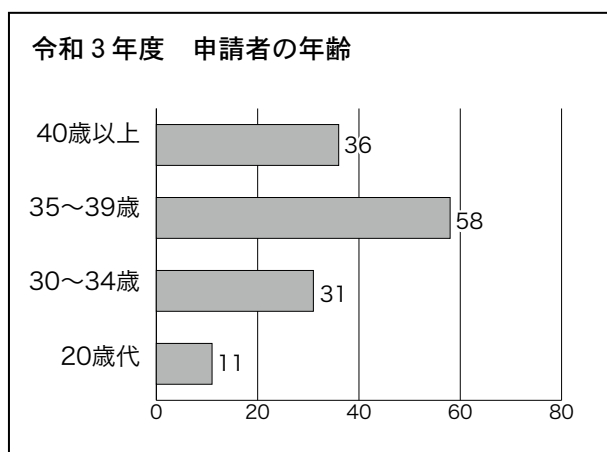
(15) コウノトリ支援事業

不妊・不育治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るために助成金を交付する。

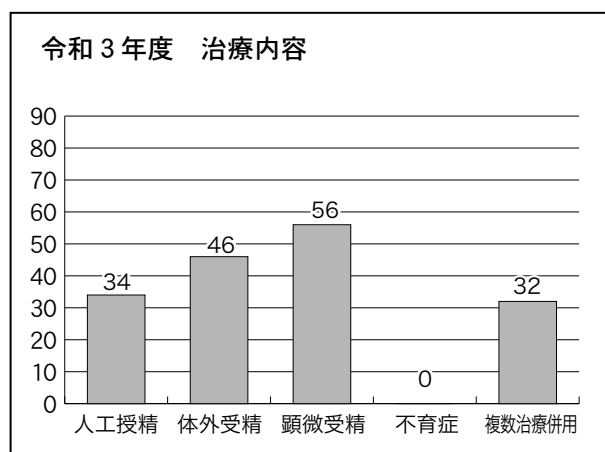
| 年度 | 申請者(組) | 助成額(円) |
|-----|--------|------------|
| H29 | 132 | 26,236,287 |
| H30 | 129 | 21,195,751 |
| R1 | 147 | 22,889,169 |
| R2 | 150 | 24,843,996 |
| R3 | 136 | 21,956,836 |



(単位：人)



(単位：人)

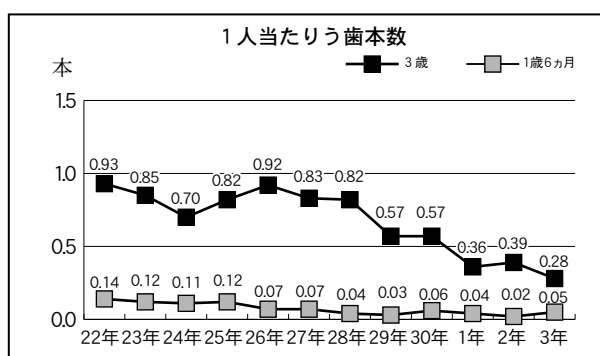
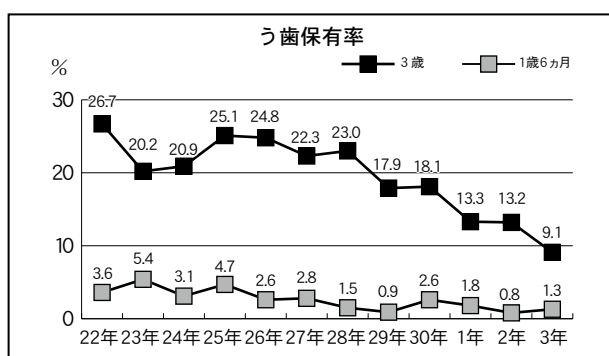


2 口腔歯科保健センター事業

(1) 幼児歯科健診（1歳6か月児歯科健診・3歳児歯科健診）

1歳6か月児及び3歳児のう歯保有率は減少傾向である。ひきつづき乳児期からの歯科指導を継続させていく必要がある。

| | 対象児数 (人) | 受診児数 (人) | 受診率 (%) | 歯の本数 | | | | | 一人当たりの う歯本数 (本) | う歯保有者数 (人) | う歯保有率 (%) | 清掃不良 (人) | 軟組織異常 (人) | 咬合異常 (人) |
|--------|-------------|-------------|------------|----------|-------------|-----------|-------------|------------|-----------------------|---------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | | | 計 (本) | 健康な歯 (本) | う歯 | | | | | | | | |
| | | | | | | 小計 (本) | 未処置歯 (本) | 処置歯 (本) | | | | | | |
| 1歳6か月児 | 732 | 711 | 97.13 | 10,609 | 10,577 | 32 | 31 | 1 | 0.05 | 9 | 1.27 | 12 | 23 | 63 |
| 3歳児 | 760 | 748 | 98.42 | 14,844 | 14,637 | 207 | 169 | 38 | 0.28 | 68 | 9.09 | 16 | 18 | 85 |



(2) 2歳児歯っぴー教室

2歳2か月・2歳3か月のお子さんと保護者を対象としたむし歯予防の教室

※新型コロナウイルス感染症の影響で3回中止

| 実施回数 | 参加組数 | 参加人数 |
|------|------|------|
| 9回 | 191組 | 388人 |

(3) 妊婦歯科健診

市内実施医療機関での歯科健診・歯みがき指導を実施

| 受診者 |
|------|
| 308人 |

(4) お口の相談日

| 実施回数 | 乳幼児 | 成人 | 合計 |
|------|-----|----|----|
| 12回 | 3人 | 1人 | 4人 |

(5) 随時相談

| 実施回数 | 乳幼児 | 成人 | 合計 |
|------|-----|----|----|
| 7回 | 6人 | 1人 | 7人 |

(6) 電話相談

| 実施回数 | 合計 |
|------|-----|
| 18回 | 18人 |

(7) 保育園・幼稚園口腔衛生指導

園児・職員対象

| 実施園数 | 園児数 | 染め出し数 | 職員数 |
|------|--------|-------|------|
| 26園 | 1,240人 | 0人 | 153人 |

(8) 保育園・幼稚園歯科検診結果集計（春の歯科検診結果）

| | 受診児数 (人) | う歯なし | | う歯保有 | | う歯 | | 一人当たりの う歯本数 (本) | 咬合異常有 | | 歯みがき不良 | |
|---|-------------|-------|------|------|------|-------------|------------|-----------------------|-------|-----|--------|-----|
| | | (人) | (%) | (人) | (%) | 未処置歯 (本) | 処置歯 (本) | | (人) | (%) | (人) | (%) |
| 計 | 2,276 | 1,813 | 79.7 | 463 | 20.3 | 1,003 | 731 | 0.76 | 75 | 3.3 | 30 | 1.3 |

(9) 子育てサロン等う歯予防事業

| 実施回数 | 参加組数 | 参加人数 | |
|------|------|------|-----|
| | | 参加者 | 職員 |
| 6回 | 36組 | 78人 | 20人 |

(10) 小中学校口腔衛生指導

| 学校別 | 実施校数 | 実施回数 | 指導人数 | |
|-----|------|------|-------|-----|
| | | | 児童・生徒 | 教職員 |
| 小学校 | 4校 | 9回 | 488人 | 90人 |
| 中学校 | 1校 | 3回 | 84人 | 0人 |
| 計 | 5校 | 12回 | 572人 | 90人 |

(11) フッ素洗口法によるう歯予防事業

保育園・幼稚園の年長児を対象に、0.05%フッ化ナトリウム水溶液を用いて週5回洗口を実施。

小中学校児童・生徒を対象に、0.2%フッ化ナトリウム水溶液を用いて週1回洗口を実施。

・実施施設数

| 保育園・幼稚園 | 小学校 | 中学校 |
|---------|-----|-----|
| 26園 | 0校 | 0校 |

新型コロナウイルス感染症の影響で4園と小中学校は未実施

(12) 歯周病（義歯）検診

1) 検診受診者の状況

歯周病（義歯）検診受診者数：832人

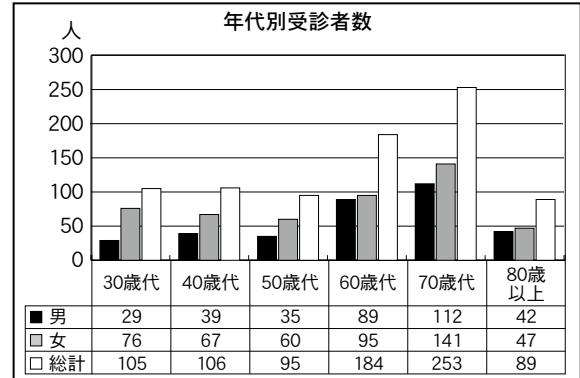
（地域集団健診とのセット検診：726人・歯周病検診単独：106人）

*参考：地域集団健診受診者数：2,465人

・年代別受診者数

（単位：人）

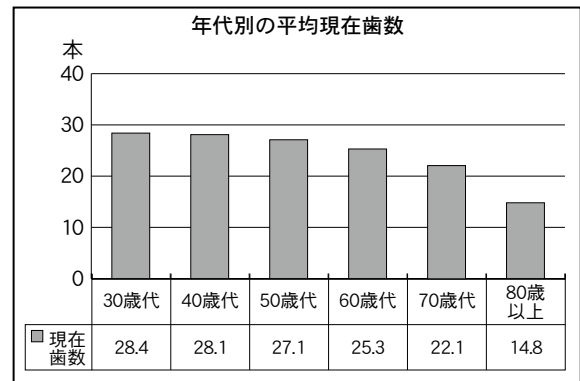
| 年代 | 性別 | 男 | 女 | 総計 |
|-------|----|-----|-----|-----|
| 30歳代 | | 29 | 76 | 105 |
| 40歳代 | | 39 | 67 | 106 |
| 50歳代 | | 35 | 60 | 95 |
| 60歳代 | | 89 | 95 | 184 |
| 70歳代 | | 112 | 141 | 253 |
| 80歳以上 | | 42 | 47 | 89 |
| 総計 | | 346 | 486 | 832 |



2) 平均現在歯数

（単位：本）

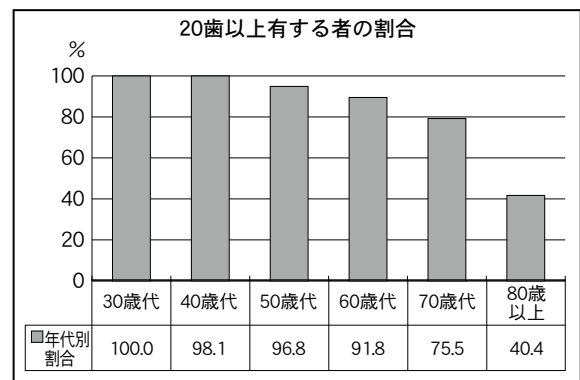
| | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 全体 |
|------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 現在歯数 | 28.4 | 28.1 | 27.1 | 25.3 | 22.1 | 14.8 | 24.2 |



3) 20歯以上有する者の割合

（単位：人・%）

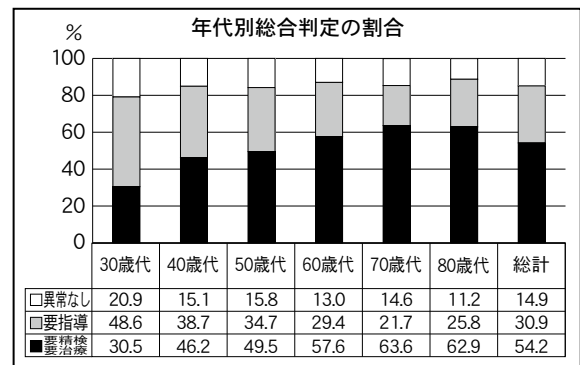
| | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 全体 |
|------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| 人数 | 105 | 104 | 92 | 169 | 191 | 36 | 697 |
| 受診者数 | 105 | 106 | 95 | 184 | 253 | 89 | 832 |
| % | 100.0 | 98.1 | 96.8 | 91.8 | 75.5 | 40.4 | 83.8 |



4) 総合判定

（単位：人）

| | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 全体 |
|-------|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 異常なし | 22 | 16 | 15 | 24 | 37 | 10 | 124 |
| 要指導 | 51 | 41 | 33 | 54 | 55 | 23 | 257 |
| 要精密検査 | 32 | 49 | 47 | 106 | 161 | 56 | 451 |
| 計 | 105 | 106 | 95 | 184 | 253 | 89 | 832 |



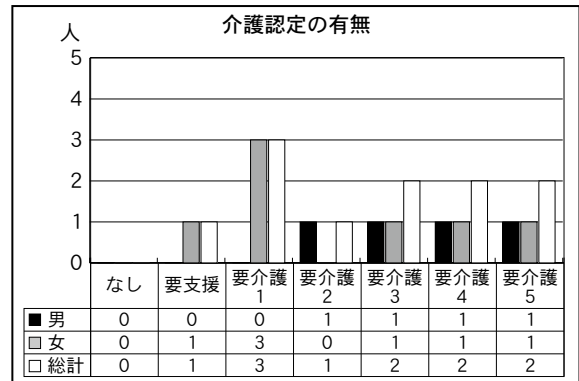
(13) 在宅要介護者等歯科保健推進事業

1) 在宅要介護者等訪問歯科健診

| 健診日数 | 実施人数 | 備考 |
|------|------|------------------|
| 9日 | 11人 | スタッフ： 歯科医師・歯科衛生士 |

・受診者の状況（介護認定の有無）（単位：人）

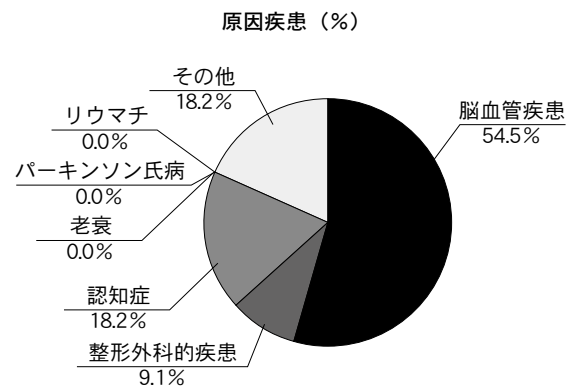
| 介護度 | 性別 | 男 | 女 | 総計 |
|------|----|---|---|----|
| なし | | 0 | 0 | 0 |
| 要支援 | | 0 | 1 | 1 |
| 要介護1 | | 0 | 3 | 3 |
| 要介護2 | | 1 | 0 | 1 |
| 要介護3 | | 1 | 1 | 2 |
| 要介護4 | | 1 | 1 | 2 |
| 要介護5 | | 1 | 1 | 2 |
| 合計 | | 4 | 7 | 11 |



注：なしは、未申請者である。

・受診者の状況（要介護状態の主な原因疾患）（単位：人）

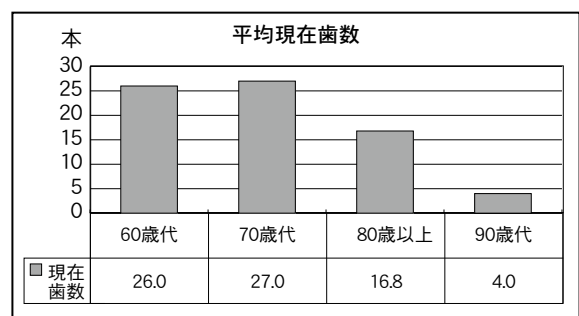
| 疾患 | 性別 | 男 | 女 | 総計 |
|----------|----|---|---|----|
| 脳血管疾患 | | 3 | 3 | 6 |
| 整形外科的疾患 | | 0 | 1 | 1 |
| 認知症 | | 0 | 2 | 2 |
| 老 衰 | | 0 | 0 | 0 |
| パーキンソン氏病 | | 0 | 0 | 0 |
| リウマチ | | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | 1 | 1 | 2 |
| 合計 | | 4 | 7 | 11 |



注：その他は、狭心症、血管性パーキンソニズム。

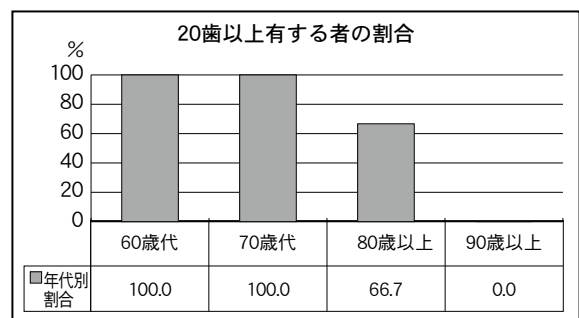
・平均現在歯数（単位：本）

| | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳以上 | 全体 |
|--------|------|------|------|-------|------|
| 平均現在歯数 | 26.0 | 27.0 | 16.8 | 4.0 | 15.1 |



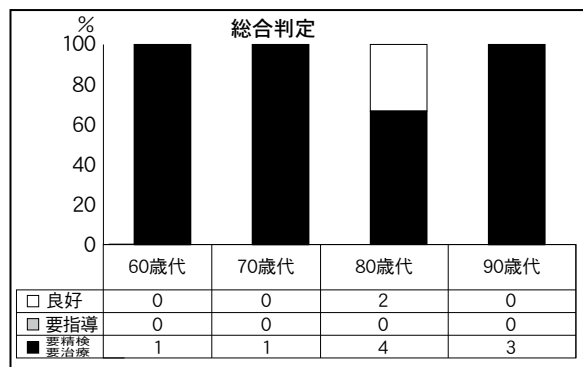
・20歯以上有する者の割合（単位：人・%）

| | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳以上 | 全体 |
|------|-------|-------|------|-------|------|
| 人数 | 1 | 1 | 4 | 0 | 6 |
| 受診人数 | 1 | 1 | 6 | 3 | 11 |
| % | 100.0 | 100.0 | 66.7 | 0.0 | 54.5 |



・総合判定 (単位：人・%)

| 判定 \ 年代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳以上 | 総計 |
|------------|------|------|------|-------|----|
| 良好 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 要指導 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要精検 要治療 | 1 | 1 | 4 | 3 | 9 |
| 計 | 1 | 1 | 6 | 3 | 11 |



2) 在宅要介護者等訪問歯科指導

| 訪問実人数 | 訪問延回数 | 内 容 |
|-------|-------|-----------------|
| 76人 | 96回 | 歯科衛生士による訪問歯科相談等 |

(14) 口腔機能向上の普及啓発事業

・講師派遣

| 実施回数 | 参加人数 |
|------|------|
| 8回 | 189人 |

・療育支援センター歯科指導

| 実施回数 | 参加人数 |
|------|------|
| 2回 | 10人 |

・福祉施設歯科指導

| 施設 | 実施回数 | 参加人数 |
|------|------|------|
| 通所施設 | 1回 | 22人 |
| 入所施設 | 1回 | 8人 |

(15) 専門職員研修会 (YouTubeによる動画配信)

| 実施回数 | 再生回数 |
|------|------|
| 1回 | 152人 |

3 成人保健事業

(1) 各種健康診査年度別受診状況

(単位：人)

| 個別健診実施期間 | | 受診券送達日～令和4年2月28日 | | | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 地域集団健診実施機関 | | 令和3年6月22日佐久市保健センターほか37日間 | | | | | |
| 基本項目 (特定健診) | 健診形態 | 性別 | 年齢区分 | | | | 合計 |
| | | | 35～39 | 40～64 | 65～74 | 75～ | |
| | | | 市民 | 国保加入者 | | 市民 | |
| | 個別 | 男 | 41 | 463 | 989 | 843 | 2,336 |
| | | 女 | 148 | 573 | 1,269 | 984 | 2,974 |
| | 地域集団 | 男 | 35 | 240 | 447 | 339 | 1,061 |
| | | 女 | 109 | 260 | 611 | 424 | 1,404 |
| | 合計 | 男 | 76 | 703 | 1,436 | 1,182 | 3,397 |
| | | 女 | 257 | 833 | 1,880 | 1,408 | 4,378 |
| | | 計 | 333 | 1,536 | 3,316 | 2,590 | 7,775 |
| 備考 | 項目：身体測定・血圧測定・血液検査・検尿・心電図・問診・診察 | | | | | | |
| | 年齢区分：令和4年3月31日現在の年齢により区分 | | | | | | |
| がん 検診等 | 検診項目 | | 検診形態 | | | 合計 | |
| | | | 個別 | 集団 | 単独 | | |
| | 胃部(内視鏡)検診 | | 2,004 | — | 1,549 | 3,553 | |
| | 胃部(X線)検診 | | 100 | — | 80 | 180 | |
| | 肺らせんCT検診 | | 256 | — | 302 | 558 | |
| | 胸部X線検査 | | 3,624 | 2,287 | 619 | 6,530 | |
| | 大腸がん検診 | | 3,756 | 1,508 | 1,240 | 6,504 | |
| | 子宮頸がん検診 | | 359 | 412 | 1,253 | 2,024 | |
| | 乳がん検診(マンモグラフィ) | | 365 | 504 | 824 | 1,693 | |
| | 前立腺がん検診 | | 1,567 | 598 | 433 | 2,598 | |
| 肝炎 | B型C型肝炎ウイルス検査 | | 268 | 108 | 158 | 534 | |

※平成25年度より誕生月健診から個別健診へと名称が変更となりました。

(2) 個別健診のまとめ

※平成25年度より誕生日健診から個別健診へと名称が変更となりました。

①年齢区分・男女別受診者数及び指導区分別人員

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | | | 総合指導区分別人員 | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 計 | 異常なし | 要観察 | 要指導 | 要治療 | 要精検 | 治療中 | |
| 35～39歳 | 41 | 148 | 189 | 18 | 87 | 42 | 6 | 30 | 5 | |
| 40～44歳 | 71 | 70 | 141 | 5 | 47 | 24 | 8 | 49 | 8 | |
| 45～49歳 | 82 | 78 | 160 | 6 | 40 | 42 | 8 | 55 | 9 | |
| 50～54歳 | 71 | 94 | 165 | 4 | 25 | 47 | 11 | 54 | 24 | |
| 55～59歳 | 82 | 114 | 196 | 5 | 36 | 58 | 10 | 58 | 29 | |
| 60～64歳 | 157 | 217 | 374 | 2 | 50 | 88 | 25 | 128 | 77 | |
| 65～69歳 | 392 | 506 | 898 | 2 | 104 | 221 | 54 | 250 | 267 | |
| 70～74歳 | 597 | 763 | 1,360 | 7 | 136 | 308 | 67 | 427 | 411 | |
| 75歳以上 | 843 | 984 | 1,827 | 7 | 167 | 403 | 69 | 636 | 540 | |
| 計 | 2,336 | 2,974 | 5,310 | 69 | 667 | 1,252 | 247 | 1,643 | 1,432 | |
| 割合 | 44.0% | 56.0% | 100% | 1.1% | 13.0% | 23.2% | 4.9% | 31.8% | 25.8% | |
| 前年度 | 計 | 2,102 | 2,726 | 4,828 | 35 | 405 | 738 | 208 | 1,367 | 2,075 |
| | 割合 | 43.5% | 56.5% | 100% | 0.7% | 8.4% | 15.3% | 4.3% | 28.3% | 43.0% |

②基本項目検査結果による生活習慣病疾患有所見者

(要観察・要指導・要治療・要精検・治療者数)

(単位：人)

| 年齢区分 | 高血圧境界領域 | 高血圧 | 心電図異常あり | 貧血など(疑い含む) | 肝臓疾患(疑い含む) | 糖尿病(疑い含む) | 腎機能障害など(疑い含む) | 脂質代謝(疑い含む) | 合計 |
|--------|---------|-------|---------|------------|------------|-----------|---------------|------------|--------|
| 35～39歳 | 6 | 5 | 39 | 48 | 34 | 55 | 26 | 88 | 301 |
| 40～44歳 | 8 | 7 | 25 | 30 | 46 | 51 | 14 | 78 | 259 |
| 45～49歳 | 11 | 11 | 23 | 28 | 48 | 55 | 14 | 72 | 262 |
| 50～54歳 | 30 | 17 | 30 | 40 | 65 | 72 | 35 | 120 | 409 |
| 55～59歳 | 28 | 31 | 38 | 34 | 60 | 79 | 39 | 105 | 414 |
| 60～64歳 | 52 | 68 | 76 | 52 | 127 | 180 | 81 | 240 | 876 |
| 65～69歳 | 171 | 184 | 236 | 153 | 320 | 494 | 171 | 580 | 2,309 |
| 70歳以上 | 791 | 827 | 1,155 | 692 | 1,246 | 1,936 | 1,017 | 2,093 | 9,757 |
| 計 | 1,097 | 1,150 | 1,622 | 1,077 | 1,946 | 2,922 | 1,397 | 3,376 | 14,587 |
| 割合 | 20.7% | 21.7% | 30.5% | 20.3% | 36.6% | 55.0% | 26.3% | 63.6% | |

※境界領域：上130-139 下85-89

③上記生活習慣病疾患有所見者のうち要精検・要治療者の精密検査結果の状況

(単位：人)

| 検査項目 | 要精検・要治療者数 | 左のうち精検受診者 | 検査結果 | | 所見の主なもの |
|------|-----------|-----------|------|------|---------------|
| | | | 所見なし | 所見あり | |
| 血圧 | 207 | 132 | 7 | 125 | 食事療法、要治療 |
| 心電図 | 52 | 34 | 2 | 32 | 要治療、軽微変化 |
| 血液一般 | 110 | 78 | 3 | 75 | 要治療、軽微変化 |
| 肝機能 | 132 | 80 | 2 | 78 | 食事療法、要治療、軽微変化 |
| 腎機能 | 202 | 142 | 14 | 128 | 食事療法、要治療、軽微変化 |
| 尿酸 | 60 | 41 | 3 | 38 | 食事療法、要治療、軽微変化 |
| 血糖 | 128 | 85 | 2 | 83 | 食事療法、要治療、軽微変化 |
| 脂質 | 474 | 311 | 6 | 305 | 食事療法、要治療、軽微変化 |
| 合計 | 1,365 | 903 | 39 | 864 | |

※腎機能に尿蛋白・尿潜血含む

※血糖に尿糖を含む

(3) 地域集団健診のまとめ

①年齢区分・男女別受診者数及び指導区分別人員

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | | | 総合指導区分別人員 | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|-----------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 計 | 異常なし | 要観察 | 要指導 | 要治療 | 要精検 | 治療中 | |
| 35～39歳 | 35 | 109 | 144 | 16 | 80 | — | 0 | 20 | 28 | |
| 40～44歳 | 33 | 36 | 69 | 7 | 30 | — | 0 | 16 | 16 | |
| 45～49歳 | 49 | 52 | 101 | 10 | 45 | — | 0 | 27 | 19 | |
| 50～54歳 | 45 | 42 | 87 | 9 | 17 | — | 3 | 33 | 25 | |
| 55～59歳 | 40 | 49 | 89 | 3 | 36 | — | 0 | 24 | 26 | |
| 60～64歳 | 73 | 81 | 154 | 3 | 49 | — | 2 | 49 | 51 | |
| 65～69歳 | 181 | 228 | 409 | 8 | 87 | — | 3 | 128 | 183 | |
| 70～74歳 | 266 | 383 | 649 | 13 | 109 | — | 5 | 171 | 351 | |
| 75歳以上 | 339 | 424 | 763 | 2 | 60 | — | 11 | 267 | 423 | |
| 計 | 1,061 | 1,404 | 2,465 | 71 | 513 | — | 24 | 735 | 1,122 | |
| 割合 | 43.0% | 57.0% | 100.0% | 2.9% | 20.8% | — | 1.0% | 29.8% | 45.5% | |
| 前年度 | 計 | 1,174 | 1,430 | 2,604 | 72 | 502 | — | 28 | 809 | 1,192 |
| | 割合 | 45.1% | 54.9% | 100.0% | 2.8% | 19.3% | — | 1.1% | 31.1% | 45.8% |

②基本項目検査結果による生活習慣病疾患有所見者

(要観察・要指導・要治療・要精検・治療者数)

(単位：人)

| 年齢区分 | 高血圧 境界領域 | 高血圧 | 心電図 異常あり | 貧血など (疑い含む) | 肝臓疾患 (疑い含む) | 糖尿病 (疑い含む) | 腎機能障害など (疑い含む) | 脂質代謝 (疑い含む) | 合計 |
|--------|-------------|-------|-------------|----------------|----------------|---------------|-------------------|----------------|-------|
| 35～39歳 | 2 | 2 | 26 | 9 | 8 | 4 | 5 | 25 | 81 |
| 40～44歳 | 5 | 7 | 23 | 8 | 10 | 10 | 4 | 24 | 91 |
| 45～49歳 | 4 | 11 | 30 | 11 | 9 | 14 | 13 | 40 | 132 |
| 50～54歳 | 10 | 9 | 27 | 4 | 4 | 10 | 15 | 42 | 121 |
| 55～59歳 | 9 | 23 | 38 | 2 | 9 | 26 | 23 | 55 | 185 |
| 60～64歳 | 27 | 50 | 68 | 3 | 9 | 40 | 43 | 89 | 329 |
| 65～69歳 | 73 | 149 | 181 | 16 | 42 | 146 | 176 | 316 | 1,099 |
| 70歳以上 | 280 | 573 | 691 | 104 | 47 | 539 | 727 | 671 | 3,632 |
| 計 | 410 | 824 | 1,084 | 157 | 138 | 789 | 1,006 | 1,262 | 5,670 |
| 割合 | 16.6% | 33.4% | 44.0% | 6.4% | 5.6% | 32.0% | 40.8% | 51.2% | |

※境界領域：上130-139 下85-89

③上記生活習慣病疾患有所見者のうち要精検・要治療者の精密検査結果の状況

(単位：人)

| 検査項目 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 検査結果 | | 所見の主なもの |
|------|---------------|---------------|------|------|---------------|
| | | | 所見なし | 所見あり | |
| 血圧 | 66 | 39 | 6 | 33 | 生活指導、薬物治療 |
| 心電図 | 90 | 67 | 27 | 40 | 経過観察、治療中、薬物治療 |
| 血液一般 | 25 | 14 | 1 | 13 | 治療中、要治療、禁酒指導 |
| 肝機能 | 31 | 17 | 4 | 13 | 生活指導、経過観察 |
| 腎機能 | 61 | 40 | 11 | 29 | 生活指導、治療中、薬物治療 |
| 尿酸 | 38 | 22 | 2 | 20 | 生活指導、薬物治療 |
| 血糖 | 71 | 49 | 2 | 47 | 糖尿病、生活指導、薬物治療 |
| 脂質 | 186 | 112 | 11 | 101 | 薬物治療、生活指導 |
| 合計 | 568 | 360 | 64 | 296 | |

※腎機能に尿蛋白・尿潜血含む

※血糖に尿糖を含む

④地域集団健診結果報告会年次推移

| | 結果返却方法 | | | | | | 報告会参加率※ | 実施回数 |
|-------|--------|--------------|--------|--------------|---------|--------------|---------|------|
| | 健診受診者 | | 報告会参加者 | | 来庁及び訪問等 | | | |
| | 全数 | 再掲) 74歳以下 | 全数 | 再掲) 74歳以下 | 全数 | 再掲) 74歳以下 | | |
| H30年度 | 3,030 | 2,118 | 1,613 | 1,517 | 1,417 | 605 | 71.6% | 38 |
| R1年度 | 2,863 | 1,938 | 1,437 | 1,355 | 1,426 | 583 | 69.9% | 35 |
| R2年度 | 2,603 | 1,839 | 350 | 347 | 2,253 | 1,492 | 60.1% | 38 |
| R3年度 | 2,465 | 1,711 | 349 | 333 | 2,116 | 1,378 | 52.0% | 34 |

※74歳以下のみ

H24年度より、74歳以下の受診者への保健指導充実を目的とし、75歳以上の受診者へは基本的に郵送とした。

R2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、報告会対象者を保健指導が必要な者に限定して実施した。

・報告会の内容

目的 受診者が自身の健康状態について理解し、生活習慣の改善や適切な受診に繋げる機会とする。

| 年度 | 集 団 指 導 | | 個別指導 |
|-------|--|---|----------------------|
| | テーマ | 内 容 | 対象者 |
| H30年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病と全身疾患について ・健診結果から生活習慣の振り返りと改善について | <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病について ・歯周病が全身に及ぼす影響について ・歯周病を予防するためのポイント | 74歳以下及び75歳以上の希望者 |
| R1年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・噛むことについて ・健診結果から生活習慣の振り返りと改善について | <ul style="list-style-type: none"> ・噛むことと栄養摂取の関係について ・よく噛むための食事の工夫 ・口の筋力維持につながる「あいうべ体操」の紹介 | 74歳以下及び75歳以上の希望者 |
| R2年度 | — | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 | 74歳以下の保健指導が必要な者及び希望者 |
| R3年度 | — | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 | 74歳以下の保健指導が必要な者及び希望者 |

(4) 特定健診・特定保健指導実施状況

○目的

糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化危険因子である、内臓脂肪症候群を予防するためにメタボリックシンドロームに着目し、この該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする者を抽出し、要因となる生活習慣を改善するための支援を行う。

○健診種別特定保健指導実施状況 (R4.5月末現在)

| 健診種別 | 受診者 | 支援 | 対象者 | 利用者 | 終了者 | 終了率 |
|--------------------|-------|------|-----|-----|-----|-------|
| 地域集団健診 | 1,510 | 積極的 | 53 | 47 | 11 | 20.8% |
| | | 動機付け | 158 | 145 | 95 | 60.1% |
| 個別健診 | 3,132 | 積極的 | 91 | 38 | 13 | 14.3% |
| | | 動機付け | 275 | 105 | 48 | 17.5% |
| 人間ドック | 1,266 | 積極的 | 11 | 1 | 0 | 0.0% |
| | | 動機付け | 97 | 27 | 14 | 14.4% |
| 結果書 | 939 | 積極的 | 5 | 0 | 0 | 0.0% |
| | | 動機付け | 20 | 4 | 0 | 0.0% |
| 市補助 | 49 | 積極的 | 7 | 0 | 0 | 0.0% |
| | | 動機付け | 6 | 0 | 0 | 0.0% |
| 職場健診 | 60 | 積極的 | 6 | 0 | 0 | 0.0% |
| | | 動機付け | 8 | 0 | 0 | 0.0% |
| 全体 (R3) (40歳以上) | 6,956 | 積極的 | 173 | 86 | 24 | 13.9% |
| | | 動機付け | 564 | 281 | 157 | 27.8% |
| | | 合計 | 737 | 367 | 181 | 24.6% |

※確定値は令和4年10月末算出

○特定健診受診率・特定保健指導終了率の経年変化

| | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---------------|------|------|------|------|------|
| 特定健診受診率 (%) | 40.3 | 41.4 | 41.1 | 41.0 | 40.3 |
| 特定保健指導終了率 (%) | 61.2 | 61.9 | 61.1 | 63.5 | 55.4 |

○保健指導対象者の減少率

| 項目 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---------------------------------|-----|------|------|------|------|
| ①昨年度の特定保健指導の利用 | 380 | 416 | 454 | 431 | 417 |
| ①のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数(人) | 76 | 94 | 83 | 76 | 72 |
| 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 (%) | 20 | 22.6 | 18.3 | 17.6 | 17.3 |
| 特定保健指導の対象者数(小計)(人) | 675 | 742 | 718 | 677 | 648 |

(国保連作成法定報告)

(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業実施状況

○糖尿病性腎症重症化予防事業実施状況

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 対象者把握人数 | 330 | 205 | 252 | 165 | 235 |
| 保健指導実施人数 | 214 | 192 | 213 | 119 | 162 |

(6) がん検診のまとめ

(令和4年5月末時点)

①胃がん検診

胃部（内視鏡）検査

【 男 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結 果 別 人 員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------|-------------|---------------------------------------|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 50～54歳 | 105 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 要治療：12 経過観察：4 軽微変化：3 再検査予定：6 |
| 55～59歳 | 125 | 6 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 60～64歳 | 178 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 65～69歳 | 323 | 26 | 6 | 0 | 1 | 0 | 4 | |
| 70～74歳 | 422 | 36 | 14 | 4 | 1 | 0 | 9 | |
| 75歳以上 | 538 | 34 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 | |
| 計 | 1,691 | 120 | 33 | 4 | 3 | 0 | 25 | |

【 女 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結 果 別 人 員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------|-------------|---|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 50～54歳 | 153 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 要治療：6 経過観察：4 再検査予定：5 その他の胃疾患：1 |
| 55～59歳 | 169 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 60～64歳 | 202 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 65～69歳 | 378 | 16 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| 70～74歳 | 453 | 18 | 5 | 2 | 0 | 0 | 3 | |
| 75歳以上 | 507 | 32 | 10 | 1 | 1 | 0 | 8 | |
| 計 | 1,862 | 86 | 21 | 4 | 1 | 0 | 16 | |

【 合 計 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結 果 別 人 員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------|-------------|---|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 50～54歳 | 258 | 14 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 要治療：18 経過観察：8 軽微変化：3 再検査予定：11 その他の胃疾患：1 |
| 55～59歳 | 294 | 14 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| 60～64歳 | 380 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 65～69歳 | 701 | 42 | 9 | 4 | 2 | 0 | 3 | |
| 70～74歳 | 875 | 54 | 19 | 8 | 1 | 0 | 10 | |
| 75歳以上 | 1,045 | 66 | 21 | 4 | 1 | 0 | 16 | |
| 計 | 3,553 | 197 | 54 | 19 | 5 | 0 | 30 | |

(令和4年5月末時点)

①胃がん検診

胃部（X線）検査の計

【 男 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結 果 別 人 員 | | | | |
|--------|------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------|-------------|--------|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 12 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 軽微変化：1 |
| 45～49歳 | 14 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| 50～54歳 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 55～59歳 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 60～64歳 | 12 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 65～69歳 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 70～74歳 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 75歳以上 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 69 | 10 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | |

【 女 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結 果 別 人 員 | | | | |
|--------|------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------|-------------|----------------------------|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 46 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 要治療：4 軽微変化：4 再検査予定：1 |
| 45～49歳 | 28 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 3 | |
| 50～54歳 | 8 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 55～59歳 | 10 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 60～64歳 | 8 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 65～69歳 | 7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 70～74歳 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 75歳以上 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 計 | 111 | 13 | 10 | 1 | 0 | 0 | 9 | |

【 合 計 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結 果 別 人 員 | | | | |
|--------|------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------|-------------|----------------------------|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 58 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 要治療：4 再検査予定：1 軽微変化：5 |
| 45～49歳 | 42 | 6 | 5 | 2 | 0 | 0 | 3 | |
| 50～54歳 | 12 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 55～59歳 | 13 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 60～64歳 | 20 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 65～69歳 | 16 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 70～74歳 | 10 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 75歳以上 | 9 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 計 | 180 | 22 | 12 | 2 | 0 | 0 | 10 | |

②肺がん検診

胸部X線検査、肺らせんCT検査の計

【 男 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 89 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 要治療：4 |
| 45～49歳 | 118 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 軽微変化：14 |
| 50～54歳 | 117 | 6 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 経過観察：19 |
| 55～59歳 | 111 | 6 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 炎症性結節：2 |
| 60～64歳 | 209 | 10 | 6 | 3 | 0 | 0 | 3 | 肺気腫：1 |
| 65～69歳 | 520 | 31 | 14 | 3 | 0 | 0 | 11 | 陳旧性炎症結節：2 |
| 70～74歳 | 732 | 55 | 33 | 10 | 0 | 0 | 22 | 陳旧性炎症性変化：3 |
| 75歳以上 | 1,085 | 85 | 58 | 13 | 0 | 1 | 44 | 炎症性変化：2 |
| 計 | 2,981 | 200 | 117 | 33 | 0 | 1 | 82 | 再検査予定：25 |
| | | | | | | | | 精密検査予定：1 |
| | | | | | | | | その他の呼吸器疾患：8 |
| | | | | | | | | その他の肝疾患：1 |

【 女 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 164 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 要治療：2 |
| 45～49歳 | 167 | 6 | 4 | 3 | 0 | 0 | 1 | 軽微変化：17 |
| 50～54歳 | 178 | 16 | 9 | 2 | 0 | 0 | 7 | 経過観察：30 |
| 55～59歳 | 190 | 9 | 6 | 3 | 0 | 0 | 6 | 炎症性変化：1 |
| 60～64歳 | 364 | 15 | 12 | 3 | 0 | 0 | 9 | 心肥大：1 |
| 65～69歳 | 710 | 40 | 27 | 11 | 1 | 0 | 15 | 陳旧炎症性変化：3 |
| 70～74歳 | 980 | 47 | 27 | 9 | 0 | 1 | 17 | 甲状腺腫：1 |
| 75歳以上 | 1,354 | 110 | 70 | 26 | 0 | 2 | 42 | 陳旧性肺炎：1 |
| 計 | 4,107 | 248 | 157 | 57 | 1 | 3 | 99 | 再検査予定：27 |
| | | | | | | | | その他の呼吸器疾患：12 |
| | | | | | | | | その他の整形外科：1 |
| | | | | | | | | 他院(他科)へ紹介：3 |

【 合 計 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 253 | 9 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 要治療：6 |
| 45～49歳 | 285 | 9 | 6 | 5 | 0 | 0 | 1 | 軽微変化：31 |
| 50～54歳 | 295 | 22 | 11 | 4 | 0 | 1 | 6 | 経過観察：49 |
| 55～59歳 | 301 | 15 | 8 | 5 | 0 | 1 | 2 | 炎症性変化：3 |
| 60～64歳 | 573 | 25 | 18 | 5 | 0 | 0 | 13 | 炎症性結節：2 |
| 65～69歳 | 1,230 | 72 | 43 | 19 | 1 | 0 | 23 | 肺気腫：1 |
| 70～74歳 | 1,712 | 101 | 61 | 36 | 0 | 1 | 24 | 陳旧性肺炎：1 |
| 75歳以上 | 2,439 | 195 | 129 | 60 | 0 | 3 | 66 | 陳旧性炎症性結節：2 |
| 計 | 7,088 | 448 | 279 | 134 | 1 | 6 | 138 | 陳旧性炎症性変化：6 |
| | | | | | | | | 再検査予定：52 |
| | | | | | | | | 精密検査予定：1 |
| | | | | | | | | その他の呼吸器疾患：20 |
| | | | | | | | | 他院(他科)へ紹介：3 |
| | | | | | | | | その他の肝疾患：1 |
| | | | | | | | | 心肥大：1 |
| | | | | | | | | その他の整形外科：1 |

結核・肺がん検診実施状況(検診車による胸部X線検査)

| 結核・肺がん検診受診結果 | | | | | 精密検査結果 | |
|--------------|-------|------|-------|------|--------|-----|
| 対象者数 | 受診者数 | 受診率 | 要精検者数 | 精密検査 | 結核 | 肺がん |
| 62,053 | 1,118 | 1.8% | 55 | 52 | 0 | 1 |

③大腸がん検診

便潜血検査

(令和4年5月末時点)

【 男 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|--|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 89 | 6 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | 要治療：32 軽微変化：12 経過観察：46 処置不要：13 精検不要：1 その他の腸疾患：1 再検査予定：4 その他：1 |
| 45～49歳 | 115 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 50～54歳 | 117 | 10 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 55～59歳 | 106 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 60～64歳 | 203 | 14 | 8 | 1 | 0 | 0 | 7 | |
| 65～69歳 | 476 | 27 | 16 | 5 | 0 | 0 | 11 | |
| 70～74歳 | 701 | 47 | 25 | 4 | 1 | 0 | 21 | |
| 75歳以上 | 964 | 118 | 75 | 9 | 1 | 0 | 64 | |
| 計 | 2,771 | 226 | 132 | 20 | 2 | 0 | 110 | |

【 女 性 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|--|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 166 | 16 | 11 | 6 | 0 | 0 | 5 | 要治療：30 軽微変化：12 経過観察：37 処置不要：15 再検査予定：2 精検不要：1 大腸ポリープ：1 |
| 45～49歳 | 186 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 50～54歳 | 195 | 10 | 7 | 5 | 0 | 0 | 2 | |
| 55～59歳 | 209 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 60～64歳 | 349 | 17 | 12 | 2 | 1 | 0 | 9 | |
| 65～69歳 | 671 | 41 | 23 | 5 | 0 | 0 | 18 | |
| 70～74歳 | 906 | 45 | 32 | 9 | 1 | 2 | 20 | |
| 75歳以上 | 1,051 | 77 | 51 | 11 | 1 | 0 | 39 | |
| 計 | 3,733 | 220 | 141 | 38 | 3 | 2 | 98 | |

【 合 計 】

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|--|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 255 | 22 | 14 | 11 | 0 | 0 | 3 | 要治療：62 軽微変化：24 経過観察：83 処置不要：28 精検不要：2 再検査予定：6 その他の腸疾患：1 大腸ポリープ：1 その他：1 |
| 45～49歳 | 301 | 8 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| 50～54歳 | 312 | 20 | 9 | 6 | 0 | 0 | 3 | |
| 55～59歳 | 315 | 11 | 5 | 3 | 0 | 0 | 2 | |
| 60～64歳 | 552 | 31 | 20 | 12 | 1 | 0 | 7 | |
| 65～69歳 | 1,147 | 68 | 39 | 20 | 0 | 0 | 19 | |
| 70～74歳 | 1,607 | 93 | 57 | 32 | 2 | 2 | 21 | |
| 75歳以上 | 2,015 | 196 | 128 | 59 | 2 | 0 | 67 | |
| 計 | 6,504 | 449 | 275 | 144 | 5 | 2 | 124 | |

頸部細胞診

(令和4年5月末時点)

④子宮頸がん検診

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|--|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 20～24歳 | 57 | 9 | 8 | 2 | 0 | 0 | 6 | 要治療：1 経過観察：19 他院(他科)へ紹介：1 再検査予定：7 その他の婦人科疾患：1 治療中：1 |
| 25～29歳 | 72 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| 30～34歳 | 205 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 3 | |
| 35～39歳 | 124 | 6 | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | |
| 40～44歳 | 236 | 13 | 10 | 3 | 0 | 1 | 6 | |
| 45～49歳 | 170 | 12 | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | |
| 50～54歳 | 208 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| 55～59歳 | 123 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| 60～64歳 | 207 | 6 | 5 | 2 | 0 | 0 | 3 | |
| 65～69歳 | 181 | 3 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| 70～74歳 | 290 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| 75歳以上 | 151 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 計 | 2,024 | 70 | 48 | 16 | 0 | 2 | 30 | |

⑤乳がん検診

マンモグラフィ

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|---|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 40～44歳 | 255 | 20 | 17 | 4 | 0 | 1 | 12 | 軽微変化：20 経過観察：19 のう胞：1 乳腺症：1 再検査予定：9 |
| 45～49歳 | 190 | 13 | 9 | 2 | 0 | 0 | 7 | |
| 50～54歳 | 224 | 26 | 25 | 8 | 0 | 0 | 17 | |
| 55～59歳 | 118 | 4 | 4 | 3 | 0 | 0 | 1 | |
| 60～64歳 | 200 | 12 | 10 | 5 | 0 | 0 | 5 | |
| 65～69歳 | 199 | 5 | 5 | 3 | 0 | 0 | 2 | |
| 70～74歳 | 332 | 15 | 13 | 8 | 1 | 0 | 4 | |
| 75歳以上 | 175 | 6 | 6 | 3 | 1 | 0 | 2 | |
| 計 | 1,693 | 101 | 89 | 36 | 2 | 1 | 50 | |

⑥前立腺がん検診

P S A

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | 要精検・ 要治療者数 | 左のうち 精検受診者 | 結果別人員 | | | | |
|--------|-------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|-------------|--|
| | | | | 所見なし | がんで あった者 | がんの疑い のある者 | がん以外の疾患だった者 | |
| 50～54歳 | 132 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 要治療：2 経過観察：43 前立腺肥大症：28 再検査予定：3 |
| 55～59歳 | 147 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| 60～64歳 | 252 | 13 | 7 | 5 | 1 | 1 | 0 | |
| 65～69歳 | 521 | 28 | 14 | 2 | 2 | 4 | 6 | |
| 70～74歳 | 699 | 65 | 42 | 5 | 6 | 8 | 23 | |
| 75歳以上 | 847 | 107 | 71 | 12 | 5 | 9 | 45 | |
| 計 | 2,598 | 216 | 137 | 25 | 14 | 22 | 76 | |

(7) B型C型肝炎ウイルス検査のまとめ

(単位：人)

| 年齢区分 | 受診者数 | | | 結果別人員 | | |
|--------|-------|-------|--------|-------|------------|----------|
| | 男 | 女 | 計 | 要精検者数 | 左のうち精検受診者数 | 判定結果(陽性) |
| 40～49歳 | 55 | 78 | 133 | 0 | 0 | 0 |
| 50～59歳 | 42 | 43 | 85 | 1 | 0 | 0 |
| 60～69歳 | 93 | 106 | 199 | 1 | 0 | 0 |
| 70歳以上 | 42 | 75 | 117 | 2 | 1 | 0 |
| 計 | 232 | 302 | 534 | 4 | 1 | 0 |
| 割合 | 43.4% | 56.6% | 100.0% | 0.7% | 0.2% | 0.0% |

(8) 重症化予防講演会

① 生活習慣病等重症化予防講演会 ② 慢性腎臓病重症化予防講演会

目的 自身の健康状態を把握するための健(検)診受診や、健康的な生活習慣づくりにつなげる。

| 年度 | 日程 | 対象者 | 内容 | 会場 | 講師 | 参加者数 |
|-------|---------|--|---|--------|-----------------------|-------------------|
| H30年度 | 6/22(土) | ①市民 | 「なぜあの人はスマートになったのか?～肥満予防で未来を変える!～」 | 創錬センター | ・西森 栄太医師 ・尾形 哲医師 | 167名 |
| | 2/25(月) | ②・尿タンパク(+)以上 ・尿タンパク(±)かつeGFR60未満でⅡ度高血圧 またはD M治療中 ・尿タンパク(-)でeGFR60未満(39歳以下) eGFR50未満(40～69歳) eGFR40未満(70歳以上) | ・「腎臓のはたらきと塩分の関係～腎臓は、からだの鏡～」 ・「腎臓のはたらきと薬の関係～ポリファーマシーってなに?～」 | 中込会館 | ・萩原 正大医師 ・市川 裕平薬剤師 | 95名 |
| R1年度 | 7/18(木) | ①市民 | 「悪玉3兄弟(高血圧、高脂血症、高血糖)をやっつける!～人生100年を元気に生きる秘訣は～」 | 創錬センター | ・堀込 充章医師 | 166名 |
| | 2/3(月) | ②・尿タンパク(+)以上 ・尿タンパク(±)かつeGFR60未満 ・尿タンパク(-)でeGFR60未満(39歳以下) eGFR45未満(40歳以上) | 「あなたの腎臓をもう一度見直そう～透析を予防するために～」 | 創錬センター | ・降旗 俊一医師 ・萩原 正大医師 | 74名 |
| R2年度 | 10/27～ | ①市民(動画配信…YouTube 佐久市チャンネル) | ・「目指そう、健やか人生・腎生!～糖尿病から腎臓を守る～」 ・「腎臓と薬の豆知識」 | 創錬センター | ・萩原 正大医師 ・市川 薬剤師 | 再生回数計1万回(R4.6月現在) |
| | 3/16(火) | ②・尿タンパク(+)以上 ・尿タンパク(±)かつeGFR60未満 ・尿タンパク(-)でeGFR60未満(39歳以下) eGFR45未満(40歳以上) ・糖尿病性腎症ハイリスク者 | ・「あなたの腎臓泣いていませんか」 ・個別相談 | 中込会館 | ・萩原 正大医師 | 22名 |
| R3年度 | 7/5(月) | ①市民 | 「糖尿病で何がわるい!!」 | 創錬センター | ・仲 元司医師 | 57名 |
| | | ②コロナウイルス感染症の流行により中止 | | | | |

4 健康づくり事業

(1) 栄養改善教室

栄養・食事を含めた生活習慣の改善を目的として栄養士の指導による調理実習や講話を実施している。

保健補導員の自主活動や、保健師が保健補導員の協力により行う健康相談に合わせて実施したり、また、地区等の依頼により実施している。

実施回数 23回 参加者数 533名

実施内容 令和3年度栄養改善教室

| | 実施日 | 団体・地区名 | 内容 | 参加者(人) |
|----|-----------|------------------------------|--------------------------|--------|
| 1 | 5月17日(月) | すぎな作業所 | コロナウィルスに負けない食事 | 13 |
| 2 | 5月20日(木) | 佐久大学 地域看護援助論Ⅱ | 栄養士業務、特定保健指導における栄養支援について | 55 |
| 3 | 6月23日(火) | さくさく食育応援隊 (子育てサロン/高瀬児童館) | 食育キャラバン(朝ごはんについて) | 35 |
| 4 | 7月12日(月) | 出前講座(JA女性会相生町) | ぴんころ食調理 | 8 |
| 5 | 7月20日(火) | デイケア望月 | 夏バテ予防は食事から | 3 |
| 6 | 7月20日(火) | 佐久大学 地域生活者交流実習Ⅰ | ぴんころ運動推進事業について | 13 |
| 7 | 7月26日(月) | 療育支援センター | 偏食について | 2 |
| 8 | 7月27日(火) | 療育支援センター | 偏食について | 5 |
| 9 | 7月28日(水) | コスモスワークス本園 | 夏バテ予防は食事から | 38 |
| 10 | 8月18日(水) | デイケア浅科 | 食事バランスについて | 6 |
| 11 | 9月30日(木) | ピン・ピン講座(あいとびあ白田) | 赤ちゃんと出来るママの健康体操 | 29 |
| 12 | 9月30日(木) | コスモスワークス本園岸野 | 肥満予防について | 30 |
| 13 | 10月1日(金) | 出前講座(中町いきいきサロン) | 食事バランスについて | 26 |
| 14 | 10月2日(土) | 佐久大学 地域生活者交流実習Ⅰ | 意見交換会 | 15 |
| 15 | 10月7日(木) | 岩村田作業所 | 免疫力UPについて | 8 |
| 16 | 10月7日(木) | さくさく食育応援隊 (子育てサロン/中佐都児童館) | 食育キャラバン(朝ごはんについて) | 31 |
| 17 | 10月30日(土) | ピン・ピン講座(田口小学校体育館) | ウォーキングステーション | 31 |
| 18 | 11月6日(土) | おやこの食育教室 | 佐久市保健センター | 18 |
| 19 | 11月12日(金) | デイケア望月 | 免疫力を高めよう | 2 |
| 20 | 11月19日(金) | 出前講座(切原小PTA) | 切原小学校 | 127 |
| 21 | 11月27日(土) | ダイエット講座(創錬センター) | 食事バランスについて | 11 |
| 22 | 12月6日(月) | 出前講座(社協ファミリーサポート事業) | 食育について | 18 |
| 23 | 12月18日(土) | ダイエット講座(創錬センター) | 塩分について・ぴんころ調理実習 | 9 |
| | (合計) | 23会場 | | 533 |

(2) ぴんころ運動推進事業

健康なまま天寿を全うする意味の「ピン・ピン・コロリ」をキャッチフレーズに生活習慣病を予防し、市民の健康長寿のために栄養・運動を中心として実施する。

ぴんころ運動推進会議を設置し関係機関と連携を取りすすめる。

①ピン・ピン講座

健康づくりに関する講話・運動の実技等について学ぶ

| | 実施日 | 曜日 | 会場 | 参加者数(人) | 内容 |
|---|--------|----|----------|---------|--|
| 1 | 6月19日 | 土 | 交流文化会館浅科 | — | ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止 |
| 2 | 9月30日 | 木 | あいとびあ白田 | 29 | 講師：梅香育恵先生 「赤ちゃんと出来るママの健康体操」 内容：体操、栄養ワンポイントアドバイス 血圧測定、個別相談等 |
| 3 | 10月30日 | 土 | 田口小学校体育館 | 31 | 講師：スポーツ推進員 大塚寛美先生 「ウォーキングステーション ～五稜郭であいの館コース」 内容：ウォーキング、健康測定、 健康相談、栄養相談等 |
| 4 | 2月26日 | 土 | 総合体育館 | — | ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止 |
| | 合計 | | 2会場 | 60 | |

②食育の推進

高校生の食育教室・親子の食育教室・食育応援隊活動等

| | 実施日 | 曜日 | 会場 | 参加者数(人) | 内容 |
|---|--------|----|-------------------------------------|---------|--|
| 1 | 6月～10月 | — | さくさく食育応援隊 (子育てサロン、つどいの広場) 2会場 | 66 | さくさく食育応援隊による食育活動 人形劇「朝ごはんを食べよう」 |
| 2 | 5月20日 | 木 | 佐久大学 地域看護援助論 | 55 | 栄養士業務、特定保健指導における栄養支援 について等 |
| 3 | 7月20日 | 火 | 佐久大学 地域生活者交流実習I | 13 | ぴんころ運動推進事業について |
| 4 | 10月2日 | 木 | 佐久大学 地域生活者交流実習I | 15 | 意見交換会 |
| 5 | 11月6日 | 土 | おやこの食育教室 | 18 | 幼稚園／保育園児等・小学生とその家族を対象 親子で料理を作る楽しさを通じて「食」の体 験と食事のバランスについて |
| 6 | | | 望月高校食育講座 | — | ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に 資料配布のみ |
| 7 | | | さくさく食育応援隊 (キッズキッチン) | — | ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に 中止 |
| | 合計 | | 6会場 | 167 | |

③ぴんころステーション

出前講座、学校や作業所などでの講話、保健補導員地区活動での講話等、専門職が地域へ出向き実施した講座を職種別に集計。

【栄養士実施分】

| | 実施日 | 曜日 | 団体・地区名 | 参加者数(人) | 内 容 |
|----|--------|----|----------------------|---------|-----------------|
| 1 | 5月17日 | 月 | すぎな作業所 | 13 | コロナウィルスに負けない食事 |
| 2 | 7月12日 | 月 | 出前講座 (JA女性会相生町) | 8 | ぴんころ食調理 |
| 3 | 7月28日 | 水 | コスモスワークス本園 | 38 | 夏バテ予防は食事から |
| 4 | 9月30日 | 木 | コスモスワークス本園岸野 | 30 | 肥満予防について |
| 5 | 10月1日 | 金 | 出前講座 (中町いきいきサロン) | 26 | 食事バランスについて |
| 6 | 10月7日 | 木 | 岩村田作業所 | 8 | 免疫力UPについて |
| 7 | 11月19日 | 金 | 出前講座 (切原小PTA) | 127 | 切原小学校 |
| 8 | 11月27日 | 土 | ダイエット講座 (創練センター) | 11 | 食事バランスについて |
| 9 | 12月6日 | 月 | 出前講座 (社協ファミリーサポート事業) | 18 | 食育について |
| 10 | 12月18日 | 土 | ダイエット講座 (創練センター) | 9 | 塩分について・ぴんころ調理実習 |
| | 計 | | 10会場 | 288 | |

【保健師実施分】

| | 実施日 | 曜日 | 団体・地区名 | 参加者数(人) | 内 容 |
|---|--------|----|-----------------|---------|--------------|
| 1 | 5月26日 | 水 | コスモスワークス本園 | 38 | 簡単にできる体操 |
| 2 | 6月24日 | 木 | コスモスワークス岸野 | 26 | 感染症予防について |
| 3 | 10月16日 | 土 | ダイエット講座 (浅間会館) | 11 | 運動について |
| 4 | 10月19日 | 火 | 保健補導員地区活動 (住吉町) | 18 | 運動について |
| 5 | 10月26日 | 火 | 保健補導員地区活動 (片倉) | 8 | ストレッチ・減塩について |
| 6 | 12月7日 | 火 | 岩村田共同作業センター | 8 | 自宅でできる体操 |
| | 計 | | 6会場 | 109 | |

【歯科衛生士実施分】

| | 実施日 | 曜日 | 団体・地区名 | 参加者数(人) | 内 容 |
|--------------|--------|----|------------------|---------|-----------|
| 1 | 5月13日 | 木 | 小雀保育園 | 50 | 口腔衛生指導 |
| 2 | 5月17日 | 月 | 公立保育園一括集計 | 806 | 口腔衛生指導 |
| 3 | 5月19日 | 水 | 佳里保育園 | 96 | 口腔衛生指導 |
| 4 | 5月20日 | 木 | 佐久大学講義 | 56 | 口腔衛生指導 |
| 5 | 5月21日 | 金 | 臼田保育園 | 53 | 口腔衛生指導 |
| 6 | 5月24日 | 月 | みどりの牧場学園 | 8 | 口腔衛生指導 |
| 7 | 5月26日 | 水 | 野沢中学校 (3年) | 31 | 口腔衛生指導 |
| 8 | 5月31日 | 月 | 岸野保育園 | 37 | 口腔衛生指導 |
| 9 | 6月1日 | 火 | 聖愛保育園 | 45 | 口腔衛生指導 |
| 10 | 6月2日 | 水 | 岩村田北保育園 | 94 | 口腔衛生指導 |
| 11 | 6月2日 | 水 | 野沢中学校 (2年) | 27 | 口腔衛生指導 |
| 12 | 6月3日 | 木 | 白鳩幼稚園 | 22 | 口腔衛生指導 |
| 13 | 6月4日 | 金 | ひまわり保育園(年中、年長児) | 29 | 口腔衛生指導 |
| 14 | 6月9日 | 水 | 野沢中学校 (1年) | 26 | 口腔衛生指導 |
| 15 | 6月10日 | 木 | 浅科幼稚園 | 49 | 口腔衛生指導 |
| 16 | 6月15日 | 火 | 野沢保育園 | 86 | 口腔衛生指導 |
| 17 | 6月16日 | 水 | まちづくり講座 (中込中央区北) | 26 | 口腔の健康について |
| 18 | 6月22日 | 火 | 浅科ふれあいホーム | 22 | 口腔衛生指導 |
| 19 | 6月23日 | 水 | 中込小学校 (3年生) | 56 | 口腔衛生指導 |
| 20 | 6月24日 | 木 | 中込小学校 (2年生) | 59 | 口腔衛生指導 |
| 21 | 6月25日 | 金 | 里曲保育園 | 12 | 口腔衛生指導 |
| 22 | 6月25日 | 金 | 中込小学校 (1年生) | 51 | 口腔衛生指導 |
| 23 | 6月29日 | 火 | 中込小学校 (4年生) | 56 | 口腔衛生指導 |
| 24 | 7月1日 | 木 | 中込小学校 (5年生) | 67 | 口腔衛生指導 |
| 25 | 7月2日 | 金 | 中込小学校 (6年生) | 51 | 口腔衛生指導 |
| 26 | 7月14日 | 水 | つどいの広場 (臼田館) | 20 | 口腔衛生指導 |
| 27 | 7月27日 | 火 | おたっしゅ応援団 | 62 | 口腔の健康について |
| 28 | 8月4日 | 水 | ひまわり保育園 (年少児) | 14 | 口腔衛生指導 |
| 29 | 9月2日 | 木 | 城山小学校 | 68 | 口腔衛生指導 |
| 30 | 10月18日 | 月 | 切原小学校 | 100 | 口腔衛生指導 |
| 31 | 11月2日 | 火 | 子育てサロン (臼田児童館) | 12 | 口腔衛生指導 |
| 32 | 11月4日 | 木 | 岸野小学校 (3年生) | 15 | 口腔衛生指導 |
| 33 | 11月8日 | 月 | 子育てサロン (平根児童館) | 16 | 口腔衛生指導 |
| 34 | 11月25日 | 木 | 子育てサロン (城山児童館) | 19 | 口腔衛生指導 |
| 35 | 12月7日 | 火 | 脳いきいき健康教室 (臼田) | 20 | 口腔の健康について |
| 36 | 12月13日 | 月 | 脳いきいき健康教室 (本庁) | 9 | 口腔の健康について |
| 37 | 12月24日 | 金 | 脳いきいき健康教室 (浅科) | 7 | 口腔の健康について |
| | 計 | | 37会場 | 2,277 | |
| ぴんころステーション合計 | | | 53会場 | 2,674 | |

(3) 地区ウォーキングステーション

- 1) 目的 市民が生活習慣改善のための運動行動をより身近に実践出来るよう、自然環境を活かして、楽しみながら行えるウォーキングを広めることで、健康づくり、運動を始めるきっかけ作り、気軽に相談できる場づくりを行う。
- 2) 対象 佐久市保健補導員、市民（希望があれば市外でも可）
- 3) 実施回数 15回
- 4) 場所 本庁・各支所エリア、佐久市創造館等
- 5) 内容 正しい歩き方の指導、靴の履き方、ストレッチ指導、ウォーキングの実践
- 6) 参加人数 (単位：人)

| ①ウォーキング地区ステーション | | |
|-----------------|------------|------|
| 地区 | 日時 | 出席者数 |
| 岩村田 | 10月6日 (水) | 35 |
| 小田井・平根 | 10月14日 (木) | 14 |
| 中佐都・高瀬 | 10月14日 (木) | 29 |
| 野沢 | 10月13日 (水) | 33 |
| 桜井・岸野 | 10月13日 (水) | 23 |
| 前山・大沢 | 10月7日 (木) | 24 |
| 中込 | 10月5日 (火) | 27 |
| 平賀・内山 | 10月1日 (金) | 29 |
| 東 | 10月1日 (金) | 24 |
| 田口・青沼 | 10月19日 (火) | 39 |
| 白田・切原 | 10月19日 (火) | 44 |
| 浅科 | 10月15日 (金) | 26 |
| 春日・布施 | 10月8日 (金) | 15 |
| 協和・本牧 | 10月8日 (金) | 27 |
| 田口小学校 (ピンピン講座) | 10月30日 (土) | 31 |
| 合計 | | 420 |

②ウォーキング地区自主活動

R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施

※平成24年度～平成26年度まで実施してきたウォーキングステーションは、平成27年度より、実施形態を見直し、地区ウォーキングステーションとして実施。

(4) 森林セラピー事業

森林セラピーをより多くの方に知っていただき、健康増進に役立てていただくことを目的に、森林セラピーツアーを実施しています。

令和3年度森林セラピー体験者数

(単位：人)

| | 協議会主催ツアー | 森の案内人派遣 (団体) ツアー | コア施設プログラムツアー | 森の案内人企画イベント | 計 |
|------|----------|------------------|--------------|-------------|----|
| 平尾の森 | 18 | 25 | 0 | 0 | 43 |
| 春日の森 | 48 | 0 | 0 | 3 | 51 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 66 | 25 | 0 | 3 | 94 |

5 地区組織事業

(1) 保健補導員会

保健補導員組織は、昭和24年、厚生省（厚生労働省）が「国保保健施設拡充強化に関する通知」で、保健指導のための住民組織として保健補導員の設置を市町村に呼びかけました。長野県においては、当時、すでに類似の住民組織が組織されている市町村もあったこと、また、昭和46年に設立された長野県国保地域医療推進協議会により、未組織の市町村に設置の促進が図られたことなどから、順次、全県的な広がりをみせ、令和3年度は70市町村（全77市町村中）において組織されています。

旧佐久市・臼田町・望月町・浅科村にもそれぞれ保健補導員会が組織されていました。新佐久市発足にあたり、新市においても、地域の健康づくりの担い手として「自分の健康は自分たちでつくる」という意識の定着を図るため組織していくこととなり、合併とともに平成17年4月1日設立されました。

保健補導員は、約30～50世帯に対して1名の割合で区長により推薦され、市から任期2年間の委嘱を受けて、現在、第9期696名で活動しています。

例年は、健康意識の向上のための研修会（年4回）や研究大会の参加のほか、研修会等で学んだことを自分の家庭や地域へと広めるための地区自主活動、健診の受診勧奨、結核・肺がん検診への協力、市の離乳食教室での託児ボランティア、健康づくりのためのアンケート調査の実施など幅広い活動をしています。

(2) 佐久市食生活改善推進協議会

食生活改善推進協議会は、市・保健福祉事務所が実施する養成講座の修了者と、健康づくり・食生活改善に関心のある者によって組織されており、「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、まず会員自らが健康づくりの正しい知識と技術を学習し、よい健康生活の実践者を目指します。そのうえで、家庭や地域の人々に食生活改善を中心とした健康づくりの普及定着を推進することを目的としています。

昭和42年長野県食生活改善推進協議会が発足し、各保健福祉事務所単位に支部を置き、管内市町村単位の組織をまとめています。佐久市では平成元年より市に事務局がおかれ、佐久市食生活改善推進協議会として活動を続け、現在は103名の会員で食生活を通じたボランティア活動を続けています。

会員相互の資質向上を図るための研修会や大会への参加の他、各地区での料理講習会、国際交流事業への参加、ふれあいサロンなど様々な場面において活動しています。

6 精神保健事業

(1) 健康相談等

希望のあった作業所等にて、血圧測定・健康相談・栄養講話などを実施

(単位：人)

| | 人数 (延べ) | 〈作業所等〉 |
|-----|---------|-------------------|
| 4月 | 15 | ・佐久の泉共同作業センター |
| 5月 | 93 | ・中込共同作業センター |
| 6月 | 33 | ・岩村田共同作業センター |
| 7月 | 45 | ・すぎな作業所 |
| 8月 | 0 | ・コスモスワークス (本園・岸野) |
| 9月 | 88 | ・臼田共同作業センター |
| 10月 | 32 | ・浅科ふれあいホーム |
| 11月 | 63 | |
| 12月 | 17 | |
| 1月 | 0 | |
| 2月 | 0 | |
| 3月 | 0 | |
| 合計 | 386 | |

新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、8月の健康相談は9月へ延期、2、3月の健康相談は中止。

(2) デイケア、音楽療法

社会復帰に向けての生活訓練・作業訓練を実施

(単位：人)

| | 回数 | 人数 (延べ) | 〈会場〉 |
|-----|----|---------|-------------|
| 4月 | 4 | 17 | ・佐久市保健センター |
| 5月 | 4 | 15 | ・浅科保健センター |
| 6月 | 4 | 10 | ・望月総合支援センター |
| 7月 | 4 | 13 | |
| 8月 | 3 | 7 | |
| 9月 | 3 | 7 | |
| 10月 | 4 | 11 | |
| 11月 | 4 | 12 | |
| 12月 | 4 | 13 | |
| 1月 | 3 | 5 | |
| 2月 | 3 | 4 | |
| 3月 | 3 | 6 | |
| 合計 | 43 | 120 | |

※8月、9月、1月～3月の音楽療法は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(3) 自殺対策事業

ア 心の健康づくり講座

(ア) 目的 市民のセルフコントロール力の向上を図り、延いてはうつ病予防につなげる。

(イ) 日程等

| 日にち | 会場 | 参加者数 |
|---------|-------------|------|
| 6月3日(木) | 佐久市市民創錬センター | 44人 |
| 7月8日(木) | | 38人 |

(ウ) 内容 第1回：「前向きに考えるのではなく、考えを広げる～心がラクになる認知行動療法のスズメ【考え編】」

第2回：「上手くやるのではなく、実験してみる～心がラクになる認知行動療法のスズメ【行動編】」

(エ) 講師 川中島Fメンタルクリニック 院長 福家 知則 氏

イ 自殺予防ゲートキーパー養成研修会

(ア) 目的 ところの健康への理解を深め、ゲートキーパーの役割を意識することで「生きやすい社会」につながり、自殺を未然に防ぐ。

(イ) 日程等

| | 日時 | 会場 | 参加者数 |
|-----|-----------|-------------|------|
| 初級編 | 10月12日(木) | 佐久市市民創錬センター | 79人 |
| 中級編 | 11月18日(月) | | 58人 |

(ウ) 内容 【初級編】研修Ⅰ 「自殺の実態とゲートキーパーについて」

講師 佐久市役所 心といのちの支援相談員 保健師 神津公子氏

研修Ⅱ 「心の健康の理解～うつ病・アルコール問題を中心に～」

講師 独立行政法人 国立病院機構 小諸高原病院 村杉謙次氏

【中級編】研修 「あなたもできる 気づき、傾聴、つなぐ、見守る」

講師 NPO法人ウィズハートさく ワークポート野岸の丘所長
新津薫氏

(エ) 外部団体向け 介護保険事業所職員対象 (14人参加)

佐久人権擁護委員 (40人参加)

佐久市児童館館長 (21人参加)

ウ 心のほっとライン・佐久(相談専用直通電話)

(ア) 内容 心身の不調及び心身の不調に至る前の各種問題(当事者及び家族)に対し、心といのちの支援相談員により相談支援を行う直通電話。

月～金(祝日除く) 8:30～17:15

(イ) 相談件数 748件

エ 心といのちの総合相談会

(ア) 内容 健康問題、経済・生活問題、家庭問題など様々な問題を相談できるワンストップ相談会。

(イ) 相談件数 8月23日(月) : 5組9件

12月13日(月) : 17組23件

オ 中学生向け自殺予防啓発事業

- (ア) 目的 中学生がSOSを出せる環境をつくるためのライフスキル教育。
- (イ) 対象者 佐久市立中学校（7校）・佐久長聖中学校 1～3年生 合計2,949人
- (ウ) 内容 中学1～3年生にパンフレットを用い、保健師によるミニ講話を実施
保護者に対しては、保護者向けチラシを配布

カ 自殺対策連絡協議会

- (ア) 目的 自殺対策推進のために必要な事項について協議し、関係機関相互の連絡調整を行うために設置。参集者は医師会、弁護士会等21団体とオブザーバーにて開催。

| | 実施日時 | 会場 | 出席者数 |
|-----|----------|-----------|------|
| 第1回 | 7月19日（月） | 佐久市保健センター | 28人 |
| 第2回 | 書面会議にて実施 | | |

キ 自殺対策推進本部会・幹事会

- (ア) 目的 自殺対策の総合的な推進及び諸政策の調整等を行う。

| | 実施日時 | 会場 | 出席者数 |
|-----|---------|-----------|------|
| 本部会 | 7月2日（金） | 特別会議室 | 22人 |
| 幹事会 | 6月2日（水） | 佐久市保健センター | 18人 |

ク 庁内自殺対策関係課連絡会議

- (ア) 目的 知識・情報を共有し、窓口対応職員のスキルアップを図ること及び庁内関係課間の協力体制を構築し、自殺対策の充実を図る。

| | 実施日時 | 会場 | 出席者数 |
|-----|----------|-----------|------|
| 第1回 | 5月25日（火） | 佐久市保健センター | 26人 |
| 第2回 | 書面会議にて実施 | | |

ケ 職員向け自殺対策研修会

- (ア) 目的 自殺の実態や自殺対策についての理解を深める。
- (イ) 方法 書面会議にて実施（8月24日～9月30日）128名受講
- (ウ) 講師 佐久大学看護学部・大学院看護学研究科 准教授 朴 相俊 氏

コ 啓発活動

- (ア) 内容 相談窓口カード配布、
9月自殺予防週間・3月自殺対策強化月間にティッシュ配り等市の健診受診者へ
チラシ配布

7 予防接種事業

(1) 定期予防接種状況

(単位：人)

| 種類 | 接種者数 |
|--------------------------|--------|
| ヒブ（インフルエンザ菌b型） | 2,861 |
| 小児用肺炎球菌 | 2,850 |
| B型肝炎 | 2,108 |
| ロタウイルス | 1,796 |
| 四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ） | 2,859 |
| ポリオ | 1 |
| 二種混合（ジフテリア・破傷風） | 816 |
| 麻しん・風しん混合 | 1,519 |
| 水痘 | 1,384 |
| 日本脳炎 | 1,795 |
| 子宮頸がん予防（ヒトパピローマウイルス） | 644 |
| 高齢者のインフルエンザ | 18,556 |
| 高齢者用肺炎球菌 | 1,075 |
| BCG | 702 |
| 風しん第5期 | 254 |

(2) 任意予防接種状況

(単位：人)

| 種類 | 接種者数 |
|----------------------|------|
| 高齢者用肺炎球菌 | 14 |
| 生れてくる赤ちゃんのための風しん予防接種 | 6 |
| おたふくかぜ | 591 |

(3) 抗体検査実施状況

(単位：人)

| 種類 | 接種者数 |
|-----------------|-------|
| 風しん第5期追加的対策抗体検査 | 1,196 |

8 医師当番制対策事業

在宅当番医制事業受診状況

| 診療月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 回数 | 10回 | 16回 | 8回 | 12回 | 12回 | 12回 | 10回 | 12回 | 9回 | 13回 | 12回 | 10回 | 136回 | |
| 受診数(人) | 76 | 278 | 154 | 214 | 104 | 170 | 79 | 198 | 103 | 280 | 88 | 180 | 1,924 | |
| 診療科目 | 内科系 | 32 | 114 | 30 | 55 | 60 | 92 | 32 | 46 | 35 | 150 | 52 | 95 | 793 |
| | 外科系 | 7 | 1 | 1 | 1 | 10 | 3 | 3 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 34 |
| | 小児科系 | 6 | 32 | 6 | 20 | 6 | 16 | 4 | 4 | 12 | 12 | 7 | 10 | 135 |
| | その他 | 31 | 131 | 117 | 138 | 28 | 59 | 40 | 147 | 53 | 116 | 28 | 74 | 962 |
| | 計 | 76 | 278 | 154 | 214 | 104 | 170 | 79 | 198 | 103 | 280 | 88 | 180 | 1,924 |

佐久地域休日小児科急病診療センター受診状況

| 診療月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|-------|
| 回数 | 5回 | 8回 | 4回 | 6回 | 6回 | 6回 | 5回 | 6回 | 5回 | 8回 | 6回 | 5回 | 70回 | |
| 受診数(人) | 46 | 132 | 47 | 123 | 141 | 120 | 63 | 67 | 84 | 128 | 52 | 57 | 1,060 | |
| 診療圏 | 市内 | 24 | 72 | 23 | 76 | 82 | 72 | 43 | 45 | 47 | 79 | 31 | 32 | 626 |
| | 小諸市 | 5 | 10 | 9 | 18 | 12 | 18 | 9 | 6 | 7 | 10 | 5 | 7 | 116 |
| | 北佐久 | 12 | 25 | 5 | 17 | 30 | 19 | 6 | 9 | 13 | 18 | 12 | 11 | 177 |
| | 南佐久 | 3 | 14 | 5 | 0 | 11 | 6 | 3 | 3 | 8 | 6 | 0 | 2 | 61 |
| | 東御市 | 0 | 2 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 | 5 | 3 | 5 | 26 |
| | 上田市 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 11 |
| | 他県内 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 8 |
| | 県外 | 2 | 9 | 3 | 6 | 2 | 1 | 0 | 0 | 5 | 7 | 0 | 0 | 35 |
| | 計 | 46 | 132 | 47 | 123 | 141 | 120 | 63 | 67 | 84 | 128 | 52 | 57 | 1,060 |

佐久地域平日夜間急病診療センター受診状況

※佐久地域外来・検査センターの開設に伴い、令和2年5月25日から休診。

なお、令和4年3月末をもって廃止。

保健予防事業の概要

令和4年度

発行 佐久市（令和4年8月）
〒385-8501佐久市中込3056番地
電話 0267（62）2111

編集 佐久市市民健康部健康づくり推進課
